

## 〈資料紹介〉

## アイヌ文献目録 2005

## アイヌ文献目録編集会

## 目次

はしがき
凡例
謝辞
文献目録
2005
2004補遺

## はしがき

この目録は、当『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』11号及び12号に掲載した「アイヌ文献目録2003」及び「同 2004」に引き続き、ひろくアイヌ文化に関わる諸分野の学習・研究のための基礎的条件整備の一環として、アイヌ文化関係の文献に関する総合的な目録を編さんし公刊する目的のもとに、作成し掲載するものである。

目録編纂に当たっての編者らの意図、アイヌ文化研究に関する文献目録の現状と課題、本文献目録の当面の計画などについては、上記の前稿に述べている<sup>(1)</sup>ので、それらを参照されたい。

この目録も3年目を迎え、これまでに掲載した文献の件数も3,000を越えた。今後は、遡及入力

(1) このほか、当研究センターの広報紙『アイヌ民族文化研究センターだより』第23号(2005年9月)でも、「「アイヌ文献目録2003」について」と題して、この目録編さん作業の概要を紹介したことがある。

なお、この目録に近い趣旨で毎年編さんされ公刊されている文献情報に「のりすつと 北方研究データベース」(笹倉いる美編、『北海道立北方民族博物館研究紀要』掲載)があるが、同紀要第15号(2006年3月)には「のりすつとの13年」と題して、その略史や利用のされ方の諸相、幾つかの逸話などが紹介されている。

また、近年の動向としては、北海道大学附属図書館がインターネット上で提供している「北方資料データベース」について、「次期バージョン」として「北海道大学北方関係資料総合目録」のβ版が試験公開されている。「総合目録」では、資料検索の対象が同館北方資料室所蔵の「北海道資料パンフレット」などにも広がったほか、一部の資料については画像や本文もインターネット上で閲覧できるようになっている。このような検索機能の向上といゆるデジタルアーカイブ的なサービスの提供は今後急速に増えていくと思うが、この「アイヌ文献目録」が基盤に据えている、悉皆的、体系的な実見調査によるデータ収集の意義は依然として揺るがないのであって、むしろインターネットやコンピュータデータによる情報検索の基盤として、本文献目録のようなデータの集積がいっそう重要になると筆者は考えている。

を含めた累積版の作成をも視野に入れつつ、作業の継続と充実を期したいと思う。

## [謝 辞]

本年度の目録の作成に当たって、下記の機関・個人から教示または協力を受けた。文献の閲覧では、これ以外にも多くの機関のお世話になっている。

参照させていただいた様々な目録・データベースを作成し、また継続し運営している機関とその担当の方々にも、改めて謝意を述べたい。

北海道立図書館、札幌市中央図書館、北海道立アイヌ総合センター、アイヌ民族博物館、  
帯広市図書館、釧路市立図書館、帯広百年記念館アイヌ民族文化情報センター、  
北海道大学附属図書館、部落解放・人権図書館  
石原誠、本田優子、大谷洋一

(小川正人)

## [凡 例]

### 1 (収録の範囲)

目録の本文には、2005年の1年間に、図書・雑誌(新聞を除く)のかたちで発行された文献、またはそれらに収録された論文・記事であって、アイヌ民族に関わる内容の日本語・アイヌ語文献を収録した。また「2004補遺」には、2004年の1年間に関する同様の文献であって、先の「アイヌ文献目録2004」発行後に新たに確認できたものを収録した。

日本語を主体とする雑誌・単行本の中に含まれている外国語文献についても、一部収録したものがあ

る。  
包括的にとりあげることが文献検索上便宜的であると考えた場合は、アイヌを直接の主題とするものではない文献についても、やや広い範囲で収録している。例えば埋蔵文化財の発掘調査報告書については北海道内のものは時代を問わず収録する、文献目録・書誌の類については北海道・北方を主題とするものを広く収録する等である。逆に、例えば本文中に登場する地名や単語若干についてアイヌ語訳などを示している程度の場合は割愛したことが多い。

### 2 (配列)

おおよそ発行月日順に配列し、通覧の便宜を考え月ごとに区切りを設けた。

発行日は奥付の記載に準拠している。日付の記載がないもの、日付を確認できなかったものは、日のみが不明な場合は当該月の末尾に、月日とも不明の場合はその年の最後(12月の後)に記載した。

### 3 (記載事項と書式)

アイヌを主題とした単行本・雑誌については、編著者名、表題、巻号(雑誌のみ)、発行者、判型、ページ数の各項目を掲載した。編著者名と表題は太字で示した。

単行本・雑誌中の論文・記事については、最初に所収書の編著者名、表題、巻号等を掲載し、その下の行に、論文・記事の編著者名、表題、掲載ページを記載している。論文・記事の編著者名と表題は太字で示した。

編著者名、表題などの記載は奥付または表紙・背等の記載に従った。ただし副題は原則として「:」で区切って表わし、漢字の旧字体は原則として常用のものに改める等の手を加えた部分がある。

記事・論文の表題に関わる情報のうち、コーナータイトルに相当すると思われるものは〔 〕で括弧で示した。

初出に関する情報、単行本・雑誌の構成に関する情報などは本データの下に文字を小さくして挿入した。

〔 〕内は編者による注記・補足である。

文献目録

2005年1月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
<b>【2005年1月】</b>						
岡雅彦	グラフ旭川 アイヌの文化14 カムイ・ユウカラを訪ねて マリリンコ姫の物語(2)		313	グラフ旭川	B4	84 73
木名瀬高嗣	情況 第3期 〈アイヌ・文化研究〉あるいは〈「サバルタン」性〉の人類学のためのメモランダム	6	1 48	情況出版	A5	218~237
榊原正文	北海道のつり 「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 17 ゴキブリはいなかった	35	1 410	水交社	B5変型	154 113~115
清水清次郎 岡村正吉 水無月伶	北海道れきけん 本州の「舞台」地名は和語かアイヌ語か(一) えぞ歴史放談(一) 先住民族に見る詩歌の世界(一)		57	北海道歴史研究会	B5	30 10~15 16~17 18~20
	北方ジャーナル ウタリ協会の病根をえぐる	34	1 423	北方ジャーナル	A4	118 14~17
日本歴史学会(編) 浪川健治	日本歴史 【私の選ぶ図録・展示】【アンケート回答。回答中に青森県立郷土館『蝦夷錦と北方交易』あり】 回答者70人のうちの一人。		680	吉川弘文館	A5	212 81~82
歴史教育者協議会(編) 千葉誠治 浪川健治	歴史地理教育 小学校の授業 4年 アイヌの人たちの生活 近世北奥社会と民衆		679	歴史教育者協議会	A5	102 48~51
	関係目次：序章二 クナシリ・メナシの蜂起と北奥諸藩/第1章四 津軽アイヌの同化をめぐる			吉川弘文館	A5	310
平佐修	ノースアングラズ 北海道面白川名散歩 第34歩 滑る	8	1 34	つり人社	A4	130 99
平山裕人	ワークブック アイヌ・北方領土学習 にチャレンジ 主要目次：第1章 カムイ・ユウカラにチャレンジ/第2章 アイヌ語地名にチャレンジ/第3章 アイヌ史にチャレンジ/第4章 「北方領土」にチャレンジ			明石書店	B5	228
児島恭子	日本歴史地名大系 歴史地名通信 『日本歴史地名大系』附録。 アイヌ語地名の政治学		50	平凡社	A5	40 11~16
北海道立北方民族博物館(編) 笹倉いる美	北方民族博物館だより ワークショップ ポン・サラニア作り		56	北海道立北方民族博物館	A4	10 2
	オホーツク文庫 レラ アイヌ語地名辞典作成手控 : 追加項目(伊藤せいち)		1	オホーツク文化資料館	B5	20
アイヌ語地名研究会(編) 扇谷昌康 井口利夫 池田実 平隆一 三好勲 伊藤せいち 清水清次郎 高木崇世芝 渡辺隆 伊藤せいち	アイヌ語地名研究 豊頃町の旅来と遠別町の歌越の語源 : 北海道のタッコー地名を追って 山田秀三からの宿題 : 室蘭のアイヌ語地名3題 有珠沿岸の地名 空知における uray 地名 樹木名の付くアイヌ語地名「キキン」 : 木倉原野、津別町恩根・本岐 利尻町のアイヌ語地名 本州の「舞台」地名の語源はアイヌ語プト : 関東地方の舞台地名とその立体地形 『蝦夷巡覧記』に見える地名 蝦夷地名解のルーツを辿る その2 【談話室】実在形と推定形		7	アイヌ語地名研究会	B5	202 1~24 25~48 49~72 73~90 91~114 115~134 135~158 159~170 171~194 199
綾部恒雄(監修)、末成道男、曾士才(編) 長谷川由希	講座 世界の先住民族 : ファースト・ピープルの現在 01 東アジア アイヌ 日本の先住民族アイヌ			明石書店	A5	406 87~105

2005年1月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
山口昌男、チカップ美 恵子、辻井達一 石塚千恵子	山口昌男山脈 [鼎談]森と文化 第9回「森と市民を結ぶ集い 北海道2003」報告書より転載。 そこにギャラリーがあった : 札幌大学「展示スペース学習室」報告 砂澤ビッキに言及あり。		5	川村オフィス	A5	1700 59~84 88~96
坂西友秀	近代日本における人種・民族ステレオ タイプと偏見の形成過程 第4章 「人種」・「民族」の心理学研究(「日本の植民地・アイヌに関する研究」などの項目あり)。 第4章初出は2003年発行の科研費研究成果報告書。			多賀出版	A5	350
本橋哲也	ポストコロニアリズム 岩波新書新赤版928 (歴史) : 新たなる歴史の主体としてのアイヌ			岩波書店	新書	191~196
沙流川歴史館	沙流川歴史館だより 〔表紙写真解説: 沙流川流域史調査団による撮影写真を紹介〕 「沙流川周辺の生きものたち」と「アイヌの生活」2 平取町の遺跡&遺物 No. 13 イルエカシ遺跡		16	沙流川歴史館	A4	8 1 2 5
渡辺隆	アイヌ語地名研究会会報 全道の市町村長へ合併時の新市町村名に配慮するよう3団体連名で要望する 知床の地名 永田方正君小伝 初出は『人類学雑誌』第27巻第7号(1911年10月)。 資料紹介〔北海道方言研究会会報、札幌市中央図書館地図資料〕		22	アイヌ語地名研究会	B5	8 1~2 2~3 4 5~7
アイヌ民俗資料館	広報しずない 地名の語源探訪 : しべちゃり		686	静内町	A4	24 24
日外アソシエーツ編集部 (編)	個人文庫事典 I 北海道・東北・関東編 久保寺逸彦文庫 北海道立アイヌ民族文化研究センター所蔵 山田秀三文庫 北海道立アイヌ民族文化研究センター所蔵 服部文庫 北海道立北方民族博物館所蔵。服部健旧蔵資料。 阿部正己文庫 鶴岡市立図書館所蔵 祭魚洞文庫 流通経済大学図書館所蔵。渋沢敬三関係資料。 清野文庫 東京大学東洋文化研究所図書所蔵、清野謙次旧蔵図書。			日外アソシエーツ(発売: 紀伊國屋書店)	A5	516 16~17 17~19 25~26 54 127 296
三澤敏博 三澤敏博	日本もののけ事件簿 コロボックル			白地社	A5	153
中村齋	げんき アイヌ千一夜物語 29 いれずみ		533	白老町企画課広報係	A4	24 12
福岡イト子(文)、海 藤久仁子(絵)	しらかば アイヌの口承文芸11 あれっ、怠け者の息子がお日さまの中に!! 「我が子を月に召される母親の物語」(『アイヌ無形民俗文化財1記録刊行シリーズ1 アイヌ民話』北海道教育委員会、1988年、杉村キナラブック語り)の口語訳。		210	市立小樽図書館	A4	8 1~3
アイヌ文化振興・研究推進 機構(編)	平成16年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 4 講師太田満			アイヌ文化振興・研究推進 機構	A4	51
至文堂(編)	国文学 解釈と鑑賞 特集: 日本語に入ったことば、日本語から出たことば アイヌ語にくわわった日本語	70	1	至文堂	A5	96~104
日本民主主義文学会(編) 福山瑛子	民主文学 武四郎とアイヌ		471	日本民主主義文学会	A5	133~143

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
<b>【2005年2月】</b>						
新川寛	文化情報		274	北海道文化財保護協会	B4	4
	道南十二館					3
岡雅彦	グラフ旭川		314	グラフ旭川	B4	66
	アイヌの文化15 カムイ・ユーカラを訪ねて マリシコ姫の物語(3)					55
	メディアあさひかわ		142	メディアあさひかわ	B5	161
	【アラカルト】石狩川流域のアイヌ語地名の由来説いた研究書を自費出版 由良勇『上川郡内 石狩川本支流アイヌ語地名解』の紹介。					125
	【談話室】アイヌ語地名					161
山田悟郎	季刊東北学		2	東北芸術工科大学東北文化 研究センター	A5	229
	北の雑穀農耕 特集「〈稲作以前〉再考」の一部。					106~121
佐藤和良	新懇	75	2	837	新懇社	A5
	観蜚短歌の北方性 : 特にアイヌの歌について					54 28~29
榊原正文	北海道のつり	35	2	411	水交社	B5変型
	「ほいど」浜師のアイヌ語紀行 Vol. 18 ほいど浜師の本領発揮! アメマ ス釣ってトクをシン					146 113~115
	北方ジャーナル	34	2	424	北方ジャーナル	A4
	ウタリ協会の病根をえぐる 旅行会社が吉田とウタリ協会を提訴/「抗戦」 決めた加藤理事長の“悪”と“罪”					114 12~16
北海道開拓記念館	北海道開拓記念館第142回テーマ展 北海道神宮史料にみる北海道のあゆみ 豆本42				北海道開拓記念館	A7
出利葉浩司	白野夏雲とアイヌ民族資料					29 10~21
小田島洋	茂呂欄 室蘭地方史研究			39	室蘭地方史研究会	A5
	御雇医師 野村周甫 (一)					26~45
道方しのぶ	日本人のルーツ 探索マップ				平凡社	新書
道方しのぶ	アイヌへの道					223 98~101
上村英明 平野恵嗣 黒田秀之 長谷川由希	先住民族の10年 News			111	先住民族の10年市民連絡会	B5
	「第2次国際先住民族の10年」のはじまりにあたって					20 2
	第10会期先住民族権利宣言作業部会報告					3~5
	差別図書をめぐる「アイヌ人格権裁判」が問いかけるもの(中)					6~7
相川公司(作)、鈴木隆一 (絵)	IL0 フェロウシップ・プログラムに参加して(3)					8~9
	【創作】カムイコタン祭りに				新風舎	A5
中村和之(編責)	蝦夷錦・青玉の化学分析 加速器質量分析法による蝦夷錦の14C年代測定(2~5)/北海道出土ガラス玉のEPMA分析(6~13) 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構平成16年度研究助成報告書。					A4
高屋麻理子、鈴木晶子	建築雑誌「日本建築学会技術報告集」			120 (1528)	日本建築学会	
	北海道におけるアイヌ文化期の住居形式の変容 : 竪穴住居から平地住 居への変容過程					76
	知里森舎通信			13	知里森舎	B5
	別冊太陽 日本のこころ133 日本の 博覧会 寺下勅コレクション 第5回内閣勲業博覧会のページに「人類館」関係資料掲載あり。索引で「アイヌ」5箇所あり。その他「日本の博覧会年表」 などあり。				平凡社	A4変型
西田素康	鳴門再発見				「鳴門再発見」実行委員会	A5
	鳥居龍蔵を知っていますか					290
寮美千子(文)、小林敏也 (画)	イオマンテ 十勝場所と環境ラボラトリー・企画				パロル舎	B5

2005年2月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ	
北海学園大学工学部(編) 越前谷博、荒木健治、 桃内佳雄 桃内佳雄	北海学園大学工学部研究報告 アイヌ語-日本語対訳コーパスを対象とした局所着目型学習による対訳語 の自動抽出 アイヌ語と日本語の連体節修飾名詞句の基本的な構成と対訳パターン	32		北海学園大学工学部	B5	220 41~63 181~202	
国立民族学博物館(編) 関口由彦	国立民族学博物館研究報告 「滅び行く人種」言説に抗する「同化」 : 1920~30年代のアイヌ言論 人の抵抗 ページ番号は29巻1号からの通番。	29	3	国立民族学博物館	B5	142 467~494	
	カムイ イピリカ レ 神が美しく作 らせた 計良智子アイヌ手工芸作品集 巻末に三上マリ子「アイヌ文様に学び伝えることは…」収録(北海道ウタリ協会札幌支部機動訓練織布科訓練生の作品展 「しおり」(1981年)掲載文の再掲)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構出版助成。			ヤイユウカラの森	B5変型	47	
アイヌ民俗資料館	広報しずない 地名の語源探訪 : ほいなしり		687	静内町	A4	20 20	
吉田正生	北海道教育大学紀要 教育科学編 中学校社会科歴史教科書に現れたアイヌ民族関係記述について(その2) 中近世史記述に限定して	55	2	北海道教育大学	A4	155~169	
池谷和信 岩崎・グッドマン・ま さみ 小長谷有紀 大村敬一、遠藤彰、春 山真子、スチュアート ヘンリ(談) 崎山正毅 太田昌国 手島武雅 西成彦 丸山隆司 安田敏朗 佐藤=ロスベアグ・ナ ナ 中川成美 池澤夏樹 秋枝美保 坪井秀人	立命館言語文化研究 特集: 春季企画 連続シンポジウム「先住民という言葉に内実を与えるために」 企画にあたって 狩猟採集民の伝統と近代 アイヌの生態環境知識の再構築 モンゴル遊牧民における伝統のグローバリゼーション 質疑応答部分に関係部分あり コメント [シンポジウムⅠ] コメントのほか討論、質疑応答あり。 先住民の権利と法 : 近代の力を逆にとる 先住民問題は何を語るか 先住民の権利と自決権否定の論法 国語学とアイヌ語学の分岐点 : 金田一京助と知里幸恵 忘れられた書物 : 知里幸恵編著『アイヌ神謡集』 「帝国大学言語学」の射程 : 上田万年から金田一京助へ 知里真志保の日本語訳におけるオノマトペに関する試論 質疑応答 [シンポジウムⅢ] 討論 [シンポジウムⅣ] 同時代人としての知里幸恵と宮沢賢治 宇宙の中心に立つ知里幸恵と宮沢賢治の姿勢 『アイヌ神謡集』と賢治の童話 : 鬼神・魔神・修羅の鎮魂 国境と詩のことは : 宮沢賢治と知里幸恵	16	3	79	立命館大学国際言語文化研 究所	B5	255 2 5~12 13~17 19~26 27~42 43~47 49~55 57~75 87~89 91~99 101~111 113~125 127~142 143~144 143~144 145~155 157~168 169~184
貝澤美和子	イテセ(ゴザ編み) : シキナ活用 の調査研究 イテセ(ゴザ編み)についての調査研究/ニカブンベの作り方/オニカブンベチタッベの文様/北海道開拓記念館ニカブンベ 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構研究助成成果報告。			貝澤美和子	A4	32	
帯広叢書編集委員会(編)	虻田第二尋常小学校同窓会資料 1 口絵写真/1 文書綴1-3(虻田第二尋常小学校同窓会)/2 出現語彙一覧/あとがき/3 原資料/参考資料 [虻田第二尋常 小学校同窓会『記念雑誌』1909年10月第3回記念会]			帯広叢書編集委員会	B5	272	
井筒勝信(編著)	平成16年度 アイヌ語ラジオ講座 テ キスト単語表 平成16年度アイヌ語ラジオ講座所収の単語表に加筆・集成を加えた「愛和編」と、それを再編集した「和愛編」からなる。 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構出版助成。				A5	50	

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
小川早苗 (監修)、木村剛 (編集代表)	アイヌ民族もんよう : きり絵のせかいへ アイヌ民族の歴史と文化に学ぶシリーズ1。財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。			エテケ・カンパの会	A4	72
村上正直	人種差別撤廃条約と日本 アイヌ民族の先住民族性 第2部第5章2「条約の適用対象 (第1条) (2)。」			日本評論社	A5	313
竹内渉(編)	結城庄太郎研究報告書 写真/はじめに/Ⅰ 結城庄太郎について/Ⅱ 庄太郎研究に同行して (結城幸司) /Ⅲ 資料 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成事業報告書			結城庄司研究会	A4	61
中野巴絵	異文化伝承から学ぶアイヌ文化伝承の方法 事業の目的/事業の内容/ハワイの状況 (事前研究) /実地調査/結論/資料/引用・参考文献 奥付の書名は『異文化研究から学ぶアイヌ文化伝承の方法』。財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構奨励研究報告書。			中野巴絵	A4	21
苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所	前近代アイヌ民族における交通路の研究 (胆振・日高 Ⅰ) 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構研究助成事業報告書			苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所	A4	96
伊藤勝久	アイヌ民族の空間認識研究のための一視点 : 先住民地図研究の位置付けを通して					1~9
石純姫	アイヌ集落への朝鮮人の定住化の形成過程について					11~30
簗島栄紀	松浦武二郎の旅からみた胆振東部・日高西部の古交通路					31~38
若林和夫	アイヌ民族の「移動」に関する研究史的考察 聞き取り調査の記録					39~47 49~96
能登千織	アイヌ文化伝承の未来を考える : ハワイ先住民族文化を訪ねて 事業目的/事業内容/報告書 (はじめに「私にとってアイヌ語とは何か」/ハワイ語の現状の把握と認識/ネイティブ・ハワイアン先住民とハワイ語/ハワイ語イマージョン学校の視察/ハワイ大学ヒロ校「ハワイ語研究所」視察/展望とまとめ アイヌ語の喪失から回復への希望を抱いて) /参考文献/用語解説 奥付の書名は『言語と文化と教育の関わり : 教育の場でハワイ語イマージョン学校が問うもの』。財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構奨励研究報告書。			能登千織	A4	29
北海道大学大学院文学研究科(編)	北海道大学大学院文学研究科紀要		115	北海道大学大学院文学研究科	A5	
宮武公夫 佐藤知己	黄色い仮面のオディプス アイヌと日英博覧会 六種対照『アイヌ神謡集』(1) 校本作成のための資料と本文をめぐる諸問題					21~57 103~127
	げんき		534	白老町企画課広聴広報係	A4	18
中村齋	『アイヌ千一夜物語』を執筆 中村齋さん : イオル構想の実現はまちの活性化にもつながる アイヌ千一夜物語 30 「ポロトをアイヌ民族の拠点に」					6 7
福岡イト子(文)、海藤久仁子(絵)	しらかば アイヌの口承文芸12 カムイユカラ 神謡を読む		211	市立小樽図書館	A4	8 1~2
加藤西郷	月刊 人権問題 アイヌ民族復権の探求		338	兵庫人権問題研究所		18~21
	広報びらとり 二風谷アイヌ文化博物館だより		542	平取町役場	A4	10 14
	第8回アイヌ語弁論大会報告書 イタカン ロー アイヌ語で話しましょう! 刊行にあたって/大会日程表/出場者一覧/審査結果/審査委員名簿/発表内容/特別口演 発行年月日記載なし。「刊行にあたって」の記載による。			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	113
百瀬響、谷中章浩	年報いわみざわ 熊害報道における対アイヌ観 : 開拓使期の函館新聞を例に		26	北海道教育大学岩見沢校		45~56
さとうち藍	母の友 アイヌの昔話 : 古布絵による絵物語 シマフクロウとサケ		621	福音館書店		67~79
FFI ジャーナル編集委員会	FFI ジャーナル [食品・食品添加物研究誌]	210	2	日本食品化学研究振興財団		
佐藤知己	アイヌ民族の言語・文化と伝統料理					177~184

2005年2月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
四宅智子(文)、鈴木隆一(絵)	かわうそのものがたり			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	28
	平成16年度財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構「アイヌの伝統・文化を題材にした絵本」最優秀賞作品					
八幡耕一	アイヌ関連ラジオ放送の認知度および意識変化に係る実態研究 : メディア社会学的観点からの考察を踏まえ			八幡耕一	A4	80
	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構奨励研究報告書					

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
<b>【2005年3月】</b>						
岡雅彦 土井美千代	グラフ旭川 アイヌの文化16 カムイ・ユーカラを訪ねて 怪鳥フリューが語った話(1) [今月の推薦本] カムイコタン祭りに(相川公司・著、鈴木隆一・絵、新風社)	315		グラフ旭川	B4	70 55 65
	内田祐一(写真・文)	広報おびひろ アイヌの人々の生活106 食事の道具	970		帯広市企画部広報課	A4
松本尚志 伊藤せいち	北の青嵐 アイヌ民族と北海道「開拓」 日本語とかかわりの深いアイヌ語地名語彙	146		北の青嵐	B5	22 10~16 17~20
榎原正文	北海道のつり 「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 19 ゴメが鳴くから鯨が来るとお〜	35	3	412 水交社	B5変型	146 117~119
盛岡市先人記念館(編) 及川三治	盛岡市先人記念館だより 叱られて 金田一京助の回想を紹介。	34		34 盛岡市先人記念館	B5	8 1
北海道開拓記念館(編) 出利葉浩司 手塚薫 八幡美子 出利葉浩司	北海道開拓記念館だより 北海道神宮とアイヌ資料の謎 第142回テーマ展「北海道神宮史料にみる北海道のあゆみ」展によせて 第60回特別展 20世紀はじめのアイヌ文化 体験学習室行事 アイヌ民族のくらし 学芸員の研究ノートから8 博物館のコレクションは何を物語るのだろうか	34	4	186 北海道開拓記念館	A4	8 2 3 4 7
地蔵慶護	文化情報 「タツ・ニ」	275		北海道文化財保護協会	B4	4 2
チカップ美恵子(編著)	森と大地の言い伝え はじめに(伯父・山本多助の思い出)/第1部 森に宿る言霊(山本多助)/第2部 故郷の記憶(伊賀ふで)/あとがきにかえて(チカップ美恵子)			北海道新聞社	B6	338
ウィルタ協会(編)	ウィルタ協会会報 アルドゥ ウィルタ協会二〇〇四年総会を開催しました/資料紹介 葛西猛千代著「ギリヤーク人 オロチョン人見聞記」(青柳文吉)	26		ウィルタ協会	B5	15
川村正一(編)	アイヌ語の動植物探集 松浦武四郎の著作や近年のアイヌ語辞典等の様々な文献の動植物名のアイヌ語を抜き出して作成。目次：凡例/動物編/植物編/アイヌ語索引/和名の異名索引			文泉堂	A5	268
平佐修	ノースアングラーズ 北海道面白川名散歩 第35歩 信仰1	8	3	35 つり人社	A4	130 99
Open Forum 編集委員会 津田命子	放送大学大学院教育研究成果報告 Open Forum アイヌ女性の創造した衣文化 : 異文化接触に伴う材料・技術・環境の変化が生み出した衣文化の研究	1		1 Open Forum 編集委員会(放送大学教務部修学支援課)	A4	206
芽室町教育委員会(編)	芽室町大成2遺跡2 : 芽室町埋蔵文化財調査報告第5輯			芽室町教育委員会	A4	22
斎藤成也 斎藤成也 斎藤成也	DNA から見た日本人 日本列島に移り住んだ人々 骨の形から見た日本列島人 世界における日本語の位置			筑摩書房	新書	221 77~114 135~151 153~174
大林太良、伊藤浩司、吉田敦彦、松村一男(編) 吉田敦彦	世界神話事典 角川選書375。角川書店1994年1月発行を選書として刊行したもの。 アイヌの神話			角川書店	B6	494 161~162
津曲敏郎(編) 池上二良	環北太平洋の言語 アイヌ語の itanki とツングース語の ita・gi	12		北海道大学院文学研究科	B5	205 125~128
北海道の文化編集委員会(編) 高橋規 斎藤傑 上屋真一	北海道の文化 追悼 安東ウメ子さん 私と考古学・2004年秋 恵庭市カリンバ3遺跡の墓と副葬品	77		北海道文化財保護協会	A5	103 10~11 15~18 19~27

2005年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
井上壽 地蔵慶護 三好勲	アイヌと虫の生活誌(補遺) 水戸藩と蝦夷地 アイヌ語地名「キキン」をめぐって : 木禽原野、津別町恩根・本岐					28~35 36~45 67~73
黒田秀之 ケウトムピリカの会	先住民族の10年 News 差別図書をめぐる「アイヌ人格権裁判」が問いかけるもの(下) チセ建設始まる 川村カ子トアイヌ記念館	112		先住民族の10年市民連絡会	B5	20 5~7 8
大黒正伸	ソシオロジカ 佐々木文賢・松本和良両教授退任記念論集 松本和良教授略歴ならびに業績一覧 サンキュ、プロフェッサー・スマイル	29	1・2	49 創価大学社会学会	A5	197 44~49 51~52
大塚和義	月刊みんばく わたしにとっての民博とアイヌ文化研究 退任のことば	29	3	330 国立民族学博物館	B5	23 12
鈴木昶 鈴木昶	日本の伝承薬 : 江戸売薬から家庭薬まで 『月刊・漢方療法』連載をもとにした単行本。 熊胆 : 薬種では国家老とも			薬事日報社	B6	445 148~153
R	Arctic Circle (アークティック・サークル) 【北図鑑】ヤブマメ			54 北方文化振興会	B5	20 19
厚真町教育委員会(編)	厚真町上幌内モイ遺跡 釧路公立大学紀要 人文・自然科学研究			厚真町教育委員会 釧路公立大学	A4 B5	30 158
高嶋弘志	【資料紹介】有珠善光寺文書「■誉上人代草日鑑」の復元					1~29
伊豆田龍一	グリーンレター 陸別の「カネラン」と美幌の菊地一族			114 美幌農業館・博物館	B5	6 1~2
竹内渉	けーし風 【北の風南の風】雪深い北国からあれこれ			46 新沖縄フォーラム刊行会議	A5	96 86~87
樋口知志	日本史研究 蝦夷と太平洋海上交通			511 日本史研究会	A5	132 1~21
ジャン・ジャック・ナティエ(著)、添田里子(訳)	音楽・研究・人生 : 音楽と言語をめぐる仮想対話 ドビュッシー・イヌイト・アイヌ			春秋社	B6	300 116~140
本多俊和(スチュアートヘンリ) 本多俊和(スチュアートヘンリ) 常本照樹 中川裕	放送大学大学院教材 文化人類学研究 : 先住民の世界 先住民とは何か 先住民運動 : 過去・現在・未来 先住民族と憲法 アイヌ語の現在と未来 : 危機言語の維持と復興			放送大学教育振興会	A5	300 11~28 253~270 271~297 299~318
	Yay Yukar Park ヤイユーカーの森アイヌ刺繍作品展/西本願寺・連続差別落書き事件/ほか		49	ヤイユーカーの森	B5	26
桃内佳雄 桃内佳雄 桃内佳雄 桃内佳雄 越前谷博、荒木健治、桃内佳雄	2004年度研究成果報告書 アイヌ語日本語機械翻訳における場所表現の処理について 初出は『情報処理北海道シンポジウム2004論文集』(2004年5月) アイヌ語名詞句の日本語への漸進的直訳について 初出は『情報処理学会研究報告』2004NL162(2004年7月) 動詞修飾によるアイヌ語名詞句の構成と直訳について 初出は『電気・情報学関係学会北海道支部連合大会後援論文集』(2004年10月) アイヌ語と日本語の連体節修飾名詞句の基本的な構成と対訳パターン 初出は『北海学園大学工学部研究報告』第32号(2005年2月) アイヌ語-日本語対訳コーパスを対象とした局所着目型学習による対訳語の自動抽出 初出は『北海学園大学工学部研究報告』第32号(2005年2月)			北海学園大学ハイテク・リサーチ・センター	A4	279 180~181 182~189 190 191~212 237~259

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
大阪大学大学院文学研究科 日本学研究室(編) 石川浩士	大阪大学 日本学報 「アイヌ語復興運動」を考える : 『チ・サンケ・ソソコ』の復刊によせて		24	大阪大学大学院文学研究科 日本学研究室	B5	125~136
富良野市教育委員会(編)	富良野市文化財調査報告 第21輯 鳥沼遺跡Ⅱ			厚真町教育委員会	A4	142
魚井一由(編著)	日本語・アイヌ語辞典			國學院短期大学コミュニケ ィカレッジセンター	B5	159
	久保寺逸彦『アイヌ語・日本語辞典稿』を基本に、同書及びジョン・パチラー『アイヌ・英・和辞典』から使用頻度の高いと推定されるアイヌ語を抽出して作成したもの(「凡例」による)。50音順に配列。					
アイヌ民俗資料館	広報しずない 地名の語源探訪 : とおべつ		688	静内町	A4	24 24
	松浦竹四郎研究会会誌 松浦武四郎往返書簡(29)(秋葉實)/幻の後方羊蹄社 安政五年留寿都の軍人山に創建(秋葉實)/松浦一雄氏 武四郎資料約千点を三雲町へ寄贈/ほか		45	松浦武四郎研究会事務局	B5	16
小西恵 花輪陽平、藤村久和	北海学園大学学芸員課程学事報告書 古平アイヌの歴史 名取武光著『噴火湾アイヌの捕鯨』のアイヌ語・地名・人名索引		7	北海学園大学学芸員課程	B5	202 20~23 130~202
	北海学園大学学芸員課程学事報告書 葛野辰次郎翁の伝承 : アイヌ語集1(花輪陽平、藤村久和編)		9	北海学園大学学芸員課程	B5	248
タチャーナ・ローン(著)、 永山ゆかり、木村美希 (訳)、津曲敏郎、加藤博文 (監訳)	サハリンのウイルト : 18~20世紀 半ばの伝統的経済と物質文化に関する 歴史・民族学的研究			北海道大学大学院文学研究 科	A5	184
ニコライ・ヴィシネフスキ (著)、小山内道子(訳)、 菊池俊彦(解説)	オタス : サハリン北方少数民族の 近代史			北海道大学大学院文学研究 科	A5	166
岸上伸啓(責任編集) 手塚薫、木原仁美	世界の食文化20 極北 北海道の先住民族アイヌ アイヌの食と文化(手塚薫)/現代のアイヌの食文化(木原仁美) 口絵写真2ページ分もあり			農山漁村文化協会	A5	250 79~119
社会文化史学会(編) 新藤透	社会文化史学 『新羅之記録』の中世アイヌ蜂起関係記事の検討		47	社会文化史学会	B5	51~64
早稲田大学人間科学学術院 (編) 飯田桂	人間科学研究 アイヌ民族の散文説話にみる世界間交流 修士論文要旨		18	早稲田大学人間科学学術院		19
北海道立アイヌ民族文化研究 センター(編) 小川正人 甲地利恵	アイヌ民族文化研究センターだより [こんなときは] アイヌ関係の昔の法令を調べたい [研究課題紹介] 旭川に伝承されるアイヌの座り歌・踊り歌についての調 査研究		22	北海道立アイヌ民族文化研 究センター	A4	8 4 5
北海道立アイヌ民族文化研究 センター(編)	ピリカ会関係資料の調査研究 北海道 立アイヌ民族文化研究センター調査研 究報告書 1 Iはじめに/II主要資料紹介(ピリカ会発行絵巻書/ピリカ会収集民具資料/ピリカ会の活動と弁開風次郎の足跡に関する 文献資料)/III資料・文献目録(村岡家・ピリカ会関係民具資料/ピリカ会・弁開風次郎関係文献目録)/IV解説(ピリ カ会と弁開風次郎(小川正人)/村岡家旧蔵民具資料の内容と特徴(古原敏弘)/落部八幡宮境内碑のアイヌ語について(佐 藤知己)/関係年表/関係地図			北海道立アイヌ民族文化研 究センター	B5	90
北海道立アイヌ民族文化研究 センター(編) 佐藤知己 澤井春美 本田優子 大谷洋一 アイヌ文献目録編集会	北海道立アイヌ民族文化研究センター 研究紀要 「申渡」のアイヌ語訳文に関する一考察 アイヌ語十勝方言の人称接辞 'a-, 'an- の出現条件と例外的事例につい て 近世北海道におけるアットゥシ着用の様相 〔調査報告〕ネコに殺されそうになった友人を助けた男の話 平取町の上田トシによる物語の翻訳、訳注、解説。 アイヌ文献目録 2003		11	北海道立アイヌ民族文化研 究センター	B5	222 1~46 47~72 73~108 109~142 143~176

2005年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
福田茂夫、高橋理、古原敏弘 切替英雄、萩中美枝	〔資料紹介〕豊浦町所蔵のアイヌ資料  〔講演記録〕企画展「アイヌ語地名を歩く―山田秀三の地名研究から―」記念講演会「アイヌ語地名研究をめぐる」 萩中美枝「山田秀三と知里真志保の地名調査」/切替英雄「山田秀三のアイヌ語地名研究」/質疑応答 2004年11月3日に開催された講演会の記録。					177～190 191～222
佐藤＝ロスベアグ・ナナ	立命館平和研究 「知里真志保と詩人たち」を論じるために	6		立命館大学国際平和ミュージアム	A4	140 85～97
小笠原の年譜を作る会(編)	小笠原克 年譜でたどる軌跡 小説『アイヌの学校』関連記述あり(120～127ページ)			小笠原克の年譜を作る会	B5	134
『物質文化研究』編集委員会(編) 内山達也	物質文化研究  アイヌの他界観 : 他界観、その多様な構造と意味づけ	2		城西国際大学物質文化研究センター	B5	57 1～26
澤井春美、田村すゞ子(編)	アイヌ語帯広方言の資料 : 田村すゞ子採録広野ハルさんの基礎語彙調査資料  科学研究費補助金(アイヌ語諸方言の調査・資料の保存・整理・公開版作成と資料アーカイブの構築準備)成果として刊行。田村すゞ子氏による帯広市在住広野ハル氏からの基礎語彙調査(1956年度実施)の記録ノート(全6冊)の翻刻。編者による注記を加えるとともに、巻末に約3,600語の索引を掲載。 目次: はじめに/本報告書の概要/語り手紹介/凡例/データベース作成/参考文献/本文/図表/アイヌ語索引/『基礎語彙調査表』との対応表			札幌学院大学	A4	486
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	ロシア民族学博物館アイヌ資料展 : ロシアが見た島国の人びと  2005年4月から8月にかけて、北海道開拓記念館及び川崎市市民ミュージアムにて開催された、財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構による工芸品展の共通図録。			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	163
V. V. ゴルバチョヴァ V. N. ヴァシーリエフ(著)、荻原真子(訳) L. A. カラベトーヴァ	ロシア民族学博物館の至宝 : V. N. ヴァシーリエフのアイヌ民具収集 V. N. ヴァシーリエフ「エゾおよびサハリン島アイヌ紀行」 『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第10号(2004年3月)より転載。 「ロシア民族学博物館(REM)について」					130～131 132～147 148～149
戸部千春(執筆・編集)、戸部喜己男	私の道産子文化と尾張の民俗、父は秋田衆  とどまつ	27	50	研究会いたやかえで 北海道開拓記念館・開拓の村文化振興会	B5	60 46
堺比呂志 新川豊	木村謙次と国後・択捉島(5) 勝山館を訪ねて : 中世の日本海交流をみる					14～21 22～27
岡田茂弘	学習院大学史料館紀要 小特集 非文字資料の保存と研究にむけて 図書館蔵の明治天皇巡幸等写真について 写真目録及び主要写真掲載あり。	13		学習院大学史料館	A5	295 1～82
鹿田川見	環オホーツク  上川アイヌの文化 : 長者クチンクレ 豊原熙司による講評(83～85ページ)などあり。	12		北の文化シンポジウム実行委員会	B5	90 61～67
谷本晃久	教科教育学研究  意匠と普遍 : 彫刻家・砂澤ヒッキーの目指した地平から何を学ぶか	23		日本教育大学協会第二常置委員会	B5	486 67～79
豊原熙司	釧路市立博物館館報 釧路川水系の遺跡14 中流域のチャシ その3	388		釧路市立博物館	B5	12 3～8
岩崎文夫、阿部富喜男	大津・十勝川研究 〔史料紹介〕白浜忠吉『とくさの思ひ出』 「旧土人アイヌと和人の関係」あり。	3		大津・十勝川学会	A4	60 60～55 (縦組み)
成田修一	二松学舎大学東アジア学術総合研究所集刊 「斧の柄」のアイヌ語	35		二松学舎大学東アジア学術総合研究所	B5	107～124
萱野志朗 関根健司(談)	二風谷アイヌ語教室 広報紙 故川上勇治氏の足跡をたどる 訪問インタビュー 第75回	77		平取町二風谷アイヌ語教室	B5	10 1～2 4～6

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
萱野茂・萱野れい子 (談)、生田目江里子 (絵、文)	アイヌの民具紹介 No. 5 シト(団子)を作って食べよう					10
	北海道遺産情報誌 アイヌ口承文芸 : 人から人へ、途切れることなく語り伝え 平取町と白老町の取り組み 「アイヌ口承文芸」関係記事。	6		北海道遺産構想推進協議会	A4	71 10~11 10~11
高清水康博	北海道立地質研究所報告 北海道鶴川町における津波に関するアイヌの口碑伝説と祭儀	76		北海道立地質研究所		97~100
旭川市博物館(編)	旭川市博物館研究報告 知里幸恵編アイヌ神謡集の中の『蛙が自ら歌った謡』への一私考	11		旭川市博物館	A4	45 1~8
旭川市博物館(編)	旭川市博物館所蔵品目録XV 民族資料/植物採集関係 砂澤ベラモンコロ氏による?葉資料199点、河野コレクション中の旧北海道新聞北方文化研究室収集資料と見なされる標本ビン入り植物標本29点ほかを収録。			旭川市博物館	A4	68
貫気別郷土誌編集委員会 (編)	郷土誌貫気別 総説編(埋蔵文化財など)、教育編(学校沿革誌など)ほか関係記述あり。			貫気別自治会	A5	476
根室市歴史と自然の資料館 (編)	根室市歴史と自然の資料館紀要 『根室市博物館開設準備室紀要』の改題、継続誌。 千島通史(5) 18世紀後半の千島(1) 長尾又六氏の業績(4)	19		根室市自然と歴史の資料館	B5	54 1~18 19~42
沙流川歴史館(編)	沙流川歴史館年報 施設・組織の概要/平成15年度事業報告(企画展「沙流川の流送」/特別展「北海道の旧石器時代」/沙流川歴史館講座)ほか	6		沙流川歴史館	A4	80
札幌市教育委員会(編)	新札幌市史 第5巻 通史編5(下) 第6章 社会状況の変化と新たな運動の展開/第7節 アイヌ民族の諸権利の回復を求めて(一 北海道ウタリ協会札幌支部結成から「民族の復権」へ/二 民族復権運動/三 「国際先住民年」から「アイヌ文化振興法」の制定へ)			札幌市	A5	1053
青柳文吉(編)	サハリン北方先住民民族文庫集 文芸作品篇 1905-45 収録作品: 樺太東海岸の土人(野口雨情)/樺太の土人(石田収蔵)/特別加俣の土地(本庄陸男)/敷香『フレップ・トリップ』より(北原白秋)/樺太の春(北原白秋)/白樺の木立にツングスの一族(筆者不詳)/オロココの娘(深田久弥)/馴鹿王に会った時(山田武彦)/北辺紀行 夏を訪ねて(池田宗矩)/「オロココ」人の生活(澤田峯州)/樺太土人の昨今(澤田雄二)/北遊紀(正宗白鳥)/オタスの社のこのごろ(千葉恒雄)/オタスの社・異聞(鈴木大二)/樺太の土人に就て(樺太庁地方課)/オタスの人々(木村捷司)/見世物『国境』			北海道大学大学院文学研究科	A4	151 139~147 150~151
仙台藩白老元陣屋資料館 (編)	仙台藩白老元陣屋資料館報 しらおいの淡水魚 ポロト湖水系を中心に 「アイヌと川漁」あり。 アイヌ文化と川魚	11		仙台藩白老元陣屋資料館報	A4	60 36~41 42~43
煎本孝(編)	民族共生のメカニズムに関する文化人類学的研究 平成14~16年度科学研究費補助金(基盤研究(c)(2))研究成果報告書。 アイヌ文化における死の儀礼の復興 : 紛争解決、共生、行為主体			北海道大学大学院文学研究科	A4	99 51~81
帯広市図書館(帯広叢書編集委員会)(編)	吉田蔵資料集 19 帯広叢書第53巻 1 日記3-18(昭和12年4月~8月)/2 抜き書き2-1・2-2(言語学一斑・日本文法)/出現語彙一覧/注釈用参考文献一覧/あとがき			帯広市図書館	B5	274
弟子屈町史編さん委員会 (編)	弟子屈町史 第3巻			弟子屈町	B5	659
東邦コンサルタント株式会社 (編)	アメリカ伊能大図里帰りフロア展 in 釧路 特別記念誌			伊能大図フロア展 in 釧路 実行委員会	A4	133
部落解放・人権研究所 (編)	人権年鑑2004 アイヌ民族			部落解放・人権研究所	A5	385 33~36

2005年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
北海道遺産選定専門委員(編)	「まち、ひと、北海道遺産」第2章 北海道遺産情報誌 No.6			北海道遺産構想推進協議会	A5	72
	アイヌ口承文芸 : 人から人へ、途切れることなく語り伝え サケの文化 : 捨てるところのない「神の魚」 オホーツク沿岸の古代遺跡群 : 謎に包まれたオホーツク文化					10~11 14~15 18~19
北海道開拓記念館(編)	18世紀以降の北海道とサハリン州・黒 竜江省・アルバータ州における諸民族 と文化 : 北方文化共同研究事業研 究報告			北海道開拓記念館	B5	364
林昇太郎 水島未記、タチャナ P. ローン、会田理人 山田伸一	史料紹介 小林豊章筆『唐太島東西浜図』について(2) サハリン先住民の植物利用(ウイльтаを中心に)					91~116 125~186
北海道開拓記念館(編)	北海道開拓記念館研究紀要		33	北海道開拓記念館	B5	122
鈴木琢也 右代啓視 手塚薫、池田貴夫、三 浦泰之 山田伸一	擦文文化における物流交易の展開とその特性 北方諸地域における古代・中世の要害遺跡 接触・交錯するアイヌと和人のまつり : 『北役紀行』記載、文久3 (1863)年ハママシケの神社祭礼とクマ送りから アイヌ語地名の近現代史に関するノート					5~30 31~46 47~66 122~101
北海道民族学会(編)	北海道民族学会会報		1	北海道民族学会	A4	96
切替英雄 若林和夫	アイヌ語のもう一つの1 『丁巳東西蝦夷山川地理取調日誌』に見る安政四年のオオウバユリ採集と その周辺					3~11 37~52
鈴江英一(編著)	開拓使文書の森へ : 近代史料の発 生、様式、機能			北海道出版企画センター	A5	352
谷本晃久 鈴江英一 百瀬響	「函館奉行所文書」の可能性 鮭と馬鈴薯 : 大津川鮭繁殖場看視復命書から アイヌ研究と近代文書					210~211 297~304 305~306
	コア・エシックス		1	立命館大学大学院先端総合 学研究所		
佐藤 ロスベアグ ナ ナ	知里真志保のフィールドメモ 1942年の夏					83~93
	しらかば		212	市立小樽図書館	A4	8
福岡イト子、海藤久仁 子	アイヌの口承文芸13 「アイヌの口承文芸」を終えて(福岡イト子) / 「感動の物語も、ついに最終回」(海藤久仁子) 「アイヌの口承文芸」総目録 2004.4~2005.3					1 2
	語源研究		43	日本語語源研究会		
永田良茂 板橋義三	縄文地名の数詞地名例 : アイヌ・縄文語の立場から アイヌ祖語における音韻的特徴 : 母音の長短か、ピッチアクセント か? (上) 樺太アイヌ語の母音の長短と北海道アイヌ語のピッチアクセ ントの史的関係からのアプローチ					22~29 77~97
	国際公共政策研究	9	2	16 大阪大学大学院国際公共政 策研究科		
松井一博	森林認証制度における先住民族の権利					283~301
	平成16年度 普及啓発セミナー報告集			アイヌ文化振興・研究推進 機構	A4	160
青柳信克 秋辺今吉 石原誠	上川地方のチセ エカシの語るアイヌ文化 アイヌ民族自身による著作について 末尾に「アイヌ民族自身の著作(伝承含む)目録(単行本の部)/1869~1945」掲載あり。					6~11 12~17 18~25
煎本孝 岩崎まさみ 宇梶シズエ 遠藤匡俊 太田カムソッカイ満 沖野慎二 鈴木邦輝	アイヌ文化を創る : まりも祭にみる伝統・創造・共生 先住民が参加する研究のあり方について アイヌを自覚するまで アイヌ社会における集団の流動性 アイヌ語復興に関わる諸問題 : 石狩川筋の場合 博物館資料が語るアイヌ文化 アイヌとチョウザメ漁					26~30 31~35 36~40 41~47 48~55 56~61 62~68

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号通巻	発行者	判型	ページ
スチュアート ヘンリ 田口尚 田端宏 出利葉浩司  遠山サキ 富樫利一 中本ムツ子 萩中美枝 廣瀬健一郎 福岡ト子 増野光義 山本命	先住権と権原 低湿地遺跡が語るアイヌの生活 近世のアイヌ社会 : イコトイ-「豪強」、「悪党」そして「カムイ」 海外にあるアイヌ民族資料について : アメリカ・ロシア・ヨーロッパにあるコレクションの紹介と特徴  私の受け継いだアイヌ文化 知里幸恵の背景を探る : 旧土人保護法成立以前のアイヌの人たち カムイユカラの伝承 英雄叙事詩の伝承 カナダにおける先住民族教育権の回復への取り組み アイヌ文化体験学習のみちのり 旭川竜谷高等学校郷土部1967~2004 アイヌの精神文化 アイヌ語と共に アイヌ民族を愛した松浦武四郎				69~75 76~84 85~89 90~100  101~106 107~116 117~126 127~129 130~137 138~147 148~153 154~160
	平成16年度 普及啓発講演会報告集		アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	83
菊池勇夫 篠原昌彦 秋辺日出男 津島佑子	菅江真澄にみるアイヌの生活文化 : 道南・北東北の地域史像 森竹竹市の文学世界 : 『若きアイヌの詩集・原始林』を中心に 地域観光の創造 : 受け継がれるアイヌ精神 アイヌの歌声が聞こえてくる				1~29 31~46 47~66 67~83
清水康博	歴史地震 北海道における津波に関するアイヌの口碑伝説と記録	20	歴史地震研究会		183~199
『高知女子大学文化論叢』 編集委員会(編)	高知女子大学文化論叢	7	高知女子大学文化学部		51
橋尾直和	琉球語・アイヌ語・日本語諸方言とオーストロネシア語の若干の比較				39~51
アイヌ文化振興・研究推進 機構(編)	パイェアン ロ ふれてみようアイヌ の文化  アイヌ文化関連施設等分布マップ/アイヌ文化体験学習メニュー/体験学習メニューのある施設等/アイヌ文化関連資料を 展示している施設等/アイヌ文化関連の行事・儀式・イベント/チャレンジ		アイヌ文化振興・研究推進 機構	A5	44
The Foundation for Re- search and Promotion of Ainu Culture	Paye =an ro : Let's Experience Ainu Culture!  『パイェアン ロ ふれてみようアイヌの文化』の英語版。		アイヌ文化振興・研究推進 機構	A5	44
弘前大学国史学会(編) 武田亜弓  市毛幹幸	弘前大学国史研究  近世前期における弘前藩のアイヌ支配について : 松前飛脚回送の実態 から  [書評と紹介] 佐々木利和著『アイヌ絵誌の研究』	118	弘前大学国史学会		25~42  74~78
高木亨(編集者)	伊福部昭先生 : 卒寿をお祝いして のプロフィール  伊福部昭卒寿の祝賀会に合わせて作成されたもの。		伊福部昭の会	A4	8
斜里町立知床博物館(編) 佐藤孝雄	知床博物館研究報告 斜里町以久科北海岸遺跡のヒグマ頭骨	26	斜里町立知床博物館	B5	90 71~76
長澤政之	近世蝦夷地、場所請負下のアイヌ社会  東北学院大学博士課程学位論文。		[長澤政之]	A4	100
百々幸雄(研究代表者)	北海道縄文人の系譜論的・生活論的 研究 : 有珠モシリ遺跡出土人骨を 中心として  平成14~16年度科学研究費補助金研究成果報告書。		東北大学大学院医学系研究 科人体構造学分野	A4	356
北海道教育庁生涯学習部文 化課(編)	平成16年度 アイヌ民俗文化財調査報 告書(伝承聞き取り調査I)  はじめに/木村志津江さんの伝承/白川八重子さんの伝承/出現語彙一覧		北海道教育委員会	B5	129
北海道教育庁生涯学習部文 化課(編)	平成16年度 アイヌ無形民俗文化財調 査報告書(ユークラシシリーズ27) 隠 された人食い刀/六代を生きたおじい さん 自ら育つ		北海道教育委員会	B5	218
北海道教育庁生涯学習部文 化課(編)	平成16年度 知里真志保フィールドノ ート(4)  知里真志保のプロフィール/「ウラシベツの人の物語」について/「知里ハツによる物語」について/分担と謝辞/第1章 ウラシベツの人の物語/第2章 知里ハツによる物語		北海道教育委員会	B5	163

2005年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
紋別百科事典編纂委員会 (編)	紋別百科事典			紋別百科事典編纂委員会	B5	316
留萌市海のふるさと館 (編)	留萌市海のふるさと館紀要		16	留萌市海のふるさと館	A4	54
高橋明雄	留萌地方における栽培作物の歩みについて 庄内藩の開発、明治期の試作			アイヌ民族の食物、幕末		9~34
北海道埋蔵文化財センター (編)	宋野1遺跡、新野上2遺跡 北海道埋蔵 文化財センター調査報告書 第213集			北海道埋蔵文化財センター	A4	
北海道埋蔵文化財センター (編)	三次郎川左岸遺跡、石倉5遺跡2、石倉 4遺跡 北海道埋蔵文化財センター調 査報告書 第219集			北海道埋蔵文化財センター	A4	
北海道埋蔵文化財センター (編)	上台1遺跡 北海道埋蔵文化財センタ ー調査報告書 第217集			北海道埋蔵文化財センター	A4	
北海道埋蔵文化財センター (編)	上台2遺跡 北海道埋蔵文化財センタ ー調査報告書 第216集			北海道埋蔵文化財センター	A4	
北海道埋蔵文化財センター (編)	森川4遺跡 北海道埋蔵文化財センタ ー調査報告書 第218集			北海道埋蔵文化財センター	A4	
北海道埋蔵文化財センター (編)	生淵2遺跡 北海道埋蔵文化財センタ ー調査報告書 第214集			北海道埋蔵文化財センター	A4	
北海道埋蔵文化財センター (編)	対雁2遺跡6 北海道埋蔵文化財センタ ー調査報告書 第215集			北海道埋蔵文化財センター	A4	
北海道埋蔵文化財センター (編)	柏木川4遺跡、柏木川13遺跡2 北海 道埋蔵文化財センター調査報告書 第 211集			北海道埋蔵文化財センター	A4	
北海道埋蔵文化財センター (編)	穂香川右岸遺跡 穂香川竪穴群 北海 道埋蔵文化財センター調査報告書 第 212集			北海道埋蔵文化財センター	A4	

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
<b>【2005年4月】</b>						
三好勲	文化情報		276	北海道文化財保護協会	B4	4
	蝦夷錦四点を厚岸町の指定文化財に					1
	春を待つ : 喜登牛・張碓等の地名起源					2
高澤光雄	『山の素描』の執筆者たち			高澤光雄	A5	50~51
岡雅彦	グラフ旭川		316	グラフ旭川	B4	78
	アイヌの文化17 カムイ・ユーカラを訪ねて					63
	怪鳥フリーが語った話 (2)					
榊原正文	北海道のつり 「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 20 「円山」が「モイワ」で、「藻岩山」が「インカルシベヌプリ」	35 4	413	水交社	B5変型	146 112~113
日本歴史学会(編) 浪川健治	日本歴史 【史料散歩】 絵図のなかの「狢屋敷」		683	吉川弘文館	A5	176 92~93
坂野徹	帝国日本と人類学者 : 1884-1952年 第2章 日本人とは誰か : 日本人種論の政治学/第3章 われらが内なる他者 : 人類学者のアイヌ認識			勁草書房	A5	547
文学館読本編集委員会(編) かねまるよしあき	むろらん港の文学館読本 知里真志保			室蘭文学館の会	新書	156 65~69
成田英敏	先住民族の10年 News		113	先住民族の10年市民連絡会	B5	16
	漫画エッセー6 知床は「地の果て」か?					12
伊藤哲也(取材・文)	おとなのいい旅北海道		2005年春 ~初夏号	リクルート北海道じゃらん	A4	112
	アイヌ語地名をたどる 第1回 函館(旧ウスケシ)					90
歴史学研究会、日本史研究会(編) 岩崎奈緒子	日本史講座 第7巻 近世の解体 蝦夷地・琉球の「近代」			東京大学出版会	B6	327 265~296
沙流川歴史館	沙流川歴史館だより		17	沙流川歴史館	A4	8
	わかりやすい平取町百年史①					5
アイヌ民俗資料館	広報しずない		689	静内町	A4	20
	地名の語源探訪 : しんぬつ					20
日本民俗建築学会(編) 小林法道	写真でみる民家大事典 チセ 神と暮らすアイヌの建築			柏書房	B5	483 10
井口利夫	アイヌ語地名研究会会報		23	アイヌ語地名研究会	B5	8
	平成17年度(第9回)アイヌ語地名研究講演会の開催要項が決まる					1
	初心者の工夫					2~4
	旭川市にて企画展アイヌ語地名を歩くー山田秀三の地名研究からーを開催					5
	資料紹介(藤島範孝の地名研究著作)					6
斎藤敬子	イーストサイド		11	バルク・カンパニー	A4	88
	アイヌの自習時間 1時間目 さまよえるアイヌ文学					74~75
	現代の理論		3	言論NPO・現代の理論		
	特集:アイヌ民族共有財産裁判 座談会 若きアイヌの現在と未来 : 新しいアイデンティティの創出を 特集:アイヌ民族共有財産裁判					193~208
	広報びらとり		544	平取町役場	A4	10
	二風谷アイヌ文化博物館だより					12
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成17年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 1 講師菅原勝吉			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	32

2005年 5 月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
<b>【2005年 5 月】</b>						
地蔵慶護	文化情報		277	北海道文化財保護協会	B4	4
	重要文化財に美々8遺跡出土品と蝦夷三官寺関係資料					1
	シンコ					3
岡雅彦	グラフ旭川		317	グラフ旭川	B4	82
	アイヌの文化18 カムイ・ユーカラを訪ねて 小さなカワウソが語った話 (1)					71
榎原正文	北海道のつり	35	5	414 水交社	B5変型	146
	「ほいど」浜師のアイヌ語紀行 Vol. 21 嗚呼！懐かしき「つきさっぶあ んぱん」					112～113
平佐修	知里森舎通信		14	知里森舎	B5	11
	ノースアングラーズ	8	5	36 つり人社	A4	130
稲田浩二(編)	北海道面白川名散歩 第36歩 信仰2					99
	アイヌの昔話			筑摩書房	文庫	376
ちくま学芸文庫イ14-4。文庫版のための書き下ろし。物語69編を取録したほか、解説、文献(「主要な参考文献目録」「原典目録」、あとがき、収録昔話の題名と原題索引を掲載。)						
竹内渉 編集部	先住民族の10年 News		114	先住民族の10年市民連絡会	B5	20
	なまらだ! 「ユーカラ劇」札幌公演を鑑賞して					8～9
	これからのアイヌ民族の教育を考える : さっぽろ自由学校「遊」連続 講座2004より					13～15
「月刊社会教育」編集委員会(編)	オホーツク文庫 レラ		2	オホーツク文化資料館	B5	18
	アイヌ語地名辞典作成手控 : 地名出現頻度資料(伊藤せいち)					
萱野志朗	月刊社会教育	49	6	596 国土社	A5	
	特集:多民族社会を生きる 子どもの権利条約とアイヌ民族のアイヌ語学習権					21～27
演劇「人類館」上演を実現 させたい会(編)	人類館 封印された扉			アットワークス	A5	453
長谷川由希 平井正治、松田京子、 長谷川由希、都裕史、 諸見里芳美、仲間恵子 長谷川由希	アイヌ民族と植民地展示 : 1903～1913年の博覧会から シンポジウム 場所の記憶に耳をすます					70～97 169～216
	先住民族と博物館					371～375
	北海道れきけん		58	北海道歴史研究会	B5	22
清水清次郎 水無月伶 水無月伶	本州の「舞台」地名は和語かアイヌ語か(二) 先住民族に見る詩歌の世界(二)					2～7 8～9
	パッチェラー八重子を紹介。					
	先住民族に見る詩歌の世界(三) 遠星北斗を紹介。					9～10
アイヌ民俗資料館	広報しずない		690	静内町	A4	20
	地名の語源探訪 : たっこぶ					20
ユーラシア研究所(編)	松浦竹四郎研究会会誌		46	松浦武四郎研究会事務局	B5	8
	松浦武四郎往返書簡(30)(秋葉實)/松浦武四郎田崎草雲宛名土書翰集 翻刻237通を受贈(松浦武四郎研究会)/武四郎館長に高瀬英雄氏/武四郎館より未公開書翰受贈(事務局)					
橋田欣典	ユーラシア研究		32	ユーラシア研究所		
	ルポルタージュ 樺太アイヌ民族との出会い					63～65
西成辰雄 勝又秀夫	地名		21	宮城県地名研究会	A5	125
	「アイヌ前史」を読む : その担い手たちを探る 「蝦夷」の語源と地名 : エミシからエゾへ					12～14 33～50
ウィルタ協会(編)	ウィルタ協会会報 アルドゥ		27	ウィルタ協会	B5	15
サハリン少数民族遺族会代表 小泉総理に戦後補償等四項目を要請/樺太アイヌの人骨13体 札幌大解剖学教室で新たに判明/資料紹介 葛西猛千代著「ギリヤーク人 オロチョン人見聞記」(青柳文吉)						
やすいゆたか	評伝 梅原猛 : 哀しみのパトス 梅原猛の蝦夷文化論			ミネルヴァ書房	B6	352
人名索引、事項索引あり。 173～220						

2005年5月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
川奈野一信(談) 山岸俊紀(談)	二風谷アイヌ語教室 広報紙 運営委員長就任のご挨拶 訪問インタビュー 第76回		78	平取町二風谷アイヌ語教室	B5	10 1~2 4~7
川村湊	物語の娘 : 宗瑛を探して 山田秀三関係記述あり。			講談社	A5	318
滝沢正、大脇徳芳	人権と部落問題 特集:アイヌ民族共有財産裁判 アイヌ民族の「共有財産裁判」って何だろう	57	6	731	部落問題研究所	A5 6~11
近世史研究会(編) 寺崎仁樹	論集 きんせい 第一次幕領期の蝦夷地政策と箱館 : 場所経営方法の変化への対応を中心に		27	近世史研究会		1~17
国雄行	博覧会の時代 : 明治政府の博覧会政策			岩田書院	A5	290
中路正恒	季刊東北学 考古学者は、熊狩にゆけ 宇田川洋編著『クマとフクロウのイオマンテ : アイヌの民族考古学』の書評。		3	東北芸術工科大学東北文化研究センター	A5	217 212~215

2005年6月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
<b>【2005年6月】</b>						
地蔵慶護 山本融定	文化情報		278	北海道文化財保護協会	B4	4
	「ベツ」と「ナイ」					2
	統一枚の写真から (3) 奉安殿 平取町立二風谷小学校の奉安殿を紹介。					3
岡雅彦	グラフ旭川		318	グラフ旭川	B4	62
	アイヌの文化19 カムイ・ユーカラを訪ねて 小さなカワウソが語った話 (2)					51
青柳千子	セーヴェル		21	ハルビン・ウラジオストックを語る会	B5	94
	千島列島へのロシア人南下と千島アイヌ 1					38~41
馬場昭	郷土誌あさひかわ	46	6	473 郷土誌あさひかわ	B6	86
	おじたりあんノート161 “タンポポ、うまい!!”					47
内田祐一 (写真・文)	広報おびひろ		973	帯広市企画部広報課	A4	18
	アイヌの人々の生活107 チョウ					18
滝川涉	人類学雑誌	113	1	日本人類学会		
	四肢骨の計測的特徴から見た東日本縄文人と北海道アイヌ					43~61
岡田路明	白老ペン		25	白老ペンクラブ	A4	70
	伝承による「白老の始まり」について					53~54
榊原文文	北海道のつり	35	6	415 水交社	B5変型	146
	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 22 水清ければ魚住まず					110~111
芳野直子 新井かおりんだ	先住民族の10年 News		115	先住民族の10年市民連絡会	B5	20
	あのひとにきく(20) アイヌブリの結婚式を終えて 酒井美直さん、ロニー・エバソンさん					8~11
	アイヌブリの結婚式に思う いまだある差別の中で よりリアリティをもって、自然に					11~12 12
相川公司	あらやま		25	相川公司	A5	112
	創作アイヌ民話 カムイの子どもたち・総集編 初出は『あらやま』2~17号。末尾に「初出一覧」掲載あり。					2~99
相川公司	アイヌを滅びの民族とした児童文学は滅びてもいい みたび『コタン口笛』(作・石森延男) 徹底批判					100~111
高木崇芝	北海道の地名関係文献目録 北海道・樺太・千島関係/全国・東北以南のアイヌ語地名関係/主なアイヌ語辞典など/「駅名の起源」一覧/未見文献一覧/著者名索引			サッポロ堂書店	B5	26
歴史学会(編)	郷土史大辞典(上)			朝倉書店	B5	1042
榎森進、佐藤宥紹	アイヌ					4~5
佐藤宥紹	アイヌ新法					6
前田潮	アイヌ文化					6
佐藤宥紹	アイヌ民芸品					7
菊池勇夫	商場知行制					15~16
高見寛孝	イオマンテ(イヨマンテ)					60~61
内山幸子	イナウ(けずりかけ)					97~98
佐藤宥紹	運上屋					160
内山幸子	蝦夷 えぞ(えみし)					176~177
菊池勇夫	蝦夷交易					177
寺島敏治	蝦夷地御用人足					177~178
内山幸子	送り儀礼					227
菊池勇夫	御救交易					232
寺島敏治	介抱					281~282
内山幸子	キテ					438~439
島田潔	キムンカムイ					444
知里幸恵(原著)、横山孝雄(絵)	知里幸恵のユカラ絵本 キツネのハイクンテケ 『きつねのハイクンテケ』のふしぎワールド・解説(横山孝雄、A5判、4ページ)添付。			知里森舎	B5	40

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
池田雅之	共生と循環のコスモロジー : 日本、アジア、ケルトの基層文化への旅			成文堂	B6	605
池田雅之(コーディネーター)、姫田忠義、比嘉政夫ほか(パネリスト)	封印された文明と未来文明の創造 : アイヌ・沖縄・アメリカインディアン、ケルトをめぐって					544~590
	Yay Yukar Park		50	ヤイユウカラの森	B5	34
	第12回鹿野りキャンプ/2005春のキャンプその1/2005春のキャンプその2/西本願寺・連続差別落書き事件/ほか					
アイヌ民俗資料館	広報しずない		691	静内町	A4	20
	地名の語源探訪 : 布辻川					20
	北海道いい旅研究室		8	海豹社	A5	8
	素敵なライブとアイヌ料理のフルコースと講和付き温泉宿 豊岡征則氏の民宿を紹介。					
矢田俊文、工藤清泰(編) 中村和之 越田賢一郎	日本海域歴史大系 第三巻 中世編 大陸から見た中世日本の北方社会 中世の北海道をめぐる北東日本海交易			清文堂出版	A5	345 77~102 219~251
大内余庵(著)、堺比呂史(訳)	人間像 東蝦夷夜話(2)		173	人間像同人会	A5	190 88~104
永田秀郎(文)、北海道新聞社(編)	釧路 町並み今・昔			北海道新聞社	B5変型	127
	聖公会釧路教会と或る墓名碑 春湖翁頌徳碑とアイヌ教育					76~77 86~87
根室市歴史と自然の資料館(編)	くるまいし 根室市歴史と自然の資料館だより		20	根室市歴史と自然の資料館	B5	36
堀内紀子	『根室市博物館開設準備室だより』の改題、継続。 カーペンター夫妻の話 アイヌ伝道の途次、アイヌからマキリをももらったことに関する記述あり。					24~27
川村兼一(監修)、太田満(執筆、校閲)	旭川アイヌ語辞典			アイヌ語研究所	A4	259
	アイヌ文化振興・研究推進機助成出版。					
大出あや子	神々の言語学 : アイヌ語残照			日本図書刊行会(発行)、近代文芸社(発売)	A5	160
日本聖公会歴史研究会(編)	歴史研究		14	日本聖公会歴史研究会	B5	
中村一枝	金成太郎とパンキ・ペテロス(盤木良武太)					22~30
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編)	旭川地方に伝承される アイヌの座り歌・踊り歌についての調査研究 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書2			北海道立アイヌ民族文化研究センター	B5	82
	I 概説/II 調査報告(歌の情報一覧/曲目別参考資料一覧/付録 CD「旭川に伝わるアイヌ文化：座り歌・踊り歌」について) 附録 CD (「旭川に伝わるアイヌ文化：座り歌・踊り歌」) あり。					
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編)	北海道立アイヌ民族文化研究センター年報 2004(平成16年度)			北海道立アイヌ民族文化研究センター	A4	16
	広報びらとり		546	平取町役場	A4	10
	マンロー博士の氏族が来町					3
堀内光一	社会民主 映画『北の零年』とアイヌ民族		601	社会民主党全国連合機関紙宣伝局	A5	14~17
旭川市工芸センター(編)	旭川木彫りの源流			旭川市		21
解放教育研究所(編)	解放教育	35	6	451 明治図書出版	A5	
桂真理子	イランカラプター : アイヌ民族問題に取り組み始めて					62~66
北海道教職員組合(編)	北海道の教育 第39集 平和・人権教育			北海道教職員組合	A5	542 275~307
和田寛	河童伝承大事典 北海道			岩田書院	A4	771 1~9
北海道埋蔵文化財センター(編)	リヤムナイ3遺跡1 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第220集			北海道埋蔵文化財センター	A4	

2005年7月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ	
<b>【2005年7月】</b>							
地蔵慶護 鈴木仁	文化情報		279	北海道文化財保護協会	B4	4	
	森竹竹市展を仙台市で開催					1	
	ラルマ・ニ					2	
	樺太関係資料について					3	
	樺太関係資料館の紹介。						
岡雅彦	グラフ旭川		319	グラフ旭川	B4	74	
	アイヌの文化20 カムイ・ユーカラを訪ねて						
	強情クマ神の話(1)						
	メディアあさひかわ		147	メディアあさひかわ	B5	177	
	[耳より情報ファイル] オキがアイヌの伝統楽器・トンコリのツアー					95	
榊原正文	北海道のつり	35	7	416 水交社	B5変型	146	
	「ほいど」浜師のアイヌ語紀行 Vol. 23 You know 実?					108~109	
『飛磔』編集委員会(編)	飛磔			47 つぶて書房(発売:れんが書房新社)	A5		
長谷川修	アイヌ民族のための「場所=土地」を東京に					36~40	
[別海町郷土資料館]	別海町郷土資料館だより			72 別海町郷土資料館	A4	2	
戸田峯雄	「加賀家文書」の調査・研究から その16						
佐々木和利、古原敏弘、児島恭子(編)	街道の日本史1 アイヌの道			吉川弘文館	B6	260	
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編)	I 蝦夷地とアイヌ/II アイヌの交通路(一 東蝦夷地の道を歩く/二 西蝦夷地のアイヌ道を歩く)/あとがき						
	アイヌ語地名を歩く : 山田秀三の地名研究から 2005・旭川			北海道立アイヌ民族文化研究センター	A4	62	
	『アイヌ語地名を歩く : 山田秀三の地名研究から』(2004年10月)から、第2章5を「上川・道北を歩く」に差し替え、その他一部に補足・訂正や掲載写真の加除を行ったもの。草風館による増刷もあり。						
北海道開拓記念館(編)	北海道開拓記念館だより	35	1	187 北海道開拓記念館	A4	8	
出利葉浩司	「ロシア民族学博物館アイヌ資料展」をふりかえって					6	
日本文化財科学会第22回大会実行委員会(編)	日本文化財科学会第22回大会研究発表要旨			日本文化財科学会	A4		
中村和之、小田寛貴、本庄かや子	蝦夷錦の14C年代測定					122~123	
増田隆一、田村俊之、高橋理	ボスターセッション発表要旨 美笛岩陰ヒグマの古代DNA分析とクマ送り儀礼に関する考察					182~183	
	ボスターセッション発表要旨						
日本文化財科学会第22回大会実行委員会(編)	日本文化財科学会第22回大会研究発表要旨集			日本文化財科学会第22回大会実行委員会	A4	361	
増田隆一、田村俊之、高橋理	美笛岩陰ヒグマの古代DNA分析とクマ送り儀礼に関する考察					182~183	
	大会ポスター発表						
「植民地文化研究」編集委員会(編)	植民地文化研究			4 植民地文化研究会	A5		
知里むつみ	『アイヌ神謡集』からアイヌ社会を見る					18~21	
伊藤哲也(取材・文)	おとなのいい旅北海道			2005年春~夏号	リクルート北海道じゃらん	A4	128
	アイヌ語地名をたどる 第2回 知床(シレトコ)					98	
岩崎・グッドマン・まさみ	人間と環境と文化 : クジラを軸にした一考察			清水弘文堂書房	A5	220	
岩崎・グッドマン・まさみ	アイヌ民族クジラ利用文化の足跡をたどる					120~149	
佐々木毅、鶴見俊輔、富永健一ほか(編)	戦後史大事典 : 1945-2004 増補新版			小学館	B4変型	606	
	初版1991年。増補縮刷版1995年。						
榎森進	アイヌ					3	
藤本英夫	アイヌ文化振興法					9	
五十嵐聡美	第57回小樽市博物館特別展図録 描かれた岸辺のアイヌ : 旅の絵師が残したスケッチ			小樽市博物館	A4	24	
	幕末のアイヌ風俗スケッチ : その伸びやかな視覚					19~22	

2005年7月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
鶴沢加那子	先住民族の10年 News グリーンランド・イヌイトとアイヌ民族の交流		116	先住民族の10年市民連絡会	B5	20 4~6
沙流川歴史館	沙流川歴史館だより 沙流川流域のいきものたち No. 4 シナノキ		18	沙流川歴史館	A4	8 2
アイヌ民俗資料館	広報しずない 地名の語源探訪 : るべしべ		692	静内町	A4	20 20
松田青浪	留萌文学 私の佐々木長左衛門先生		90	留萌ベンクラブ	A5	413 51~53
萱野茂(文)、清水武男(写真)	アイヌ・暮らしの民具			クレオ	A5	159
朝日新聞社(編)	アエラ [表紙の人] 俳優 宇梶剛士/『素敵』を演じたのは初めてなんですよ 表紙写真とも。	18	38	939 朝日新聞社	A4	94 11
青森県立郷土館(編)	辺境からのまなざし 笹森儀助展 : 明治の青森が生んだ不屈の士魂 千島探検の記録			青森県立郷土館	A4	101 22~38
渡辺隆 平隆一	アイヌ語地名研究会会報 平成17年度 アイヌ語地名研究講演会 盛大に行われる 講演「アイヌ語地名と言語学」を聴いて 佐藤知己氏の著作・論文の紹介 浦臼町での「松浦武四郎来町150周年記念事業」 P5にも関係記事あり。 企画展 アイヌ語地名を歩くー山田秀三の地名研究からー/旭川市博物館にて開催される 留萌市で「伊能忠敬・大図」と「松浦武四郎・国郡検討図」が展示されます		24	アイヌ語地名研究会	B5	8 1 2 3 4 5 6
池谷和信、長谷川政美(編) 池谷和信、長谷川政美 田島敦、宝来聡 手塚薫 池谷和信	日本の狩猟採集文化 : 野生生物とともに生きる 日本の狩猟採集文化の生態史 DNA からみた日本人の成り立ち 近世におけるアイヌの生活様式の多様性 東北マタギの狩猟と儀礼			世界思想社	B6	235 1~18 20~44 100~149 150~173
平野みの(談) 谷口薫(談)	二風谷アイヌ語教室 広報紙 姑・平賀さだもの思い出 訪問インタビュー 第77回 講義風景(1)		79	平取町二風谷アイヌ語教室	B5	10 1~2 4~6 7
岡田路明	家庭科 アイヌ文化の食生活	55	2	593 全国家庭科教育協会		10~13
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成17年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 2 講師菅原勝吉			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	34
北海道埋蔵文化財センター(編)	森川3遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第222集			北海道埋蔵文化財センター	A4	

2005年8月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
<b>【2005年8月】</b>						
臼杵勲	文化情報		280	北海道文化財保護協会	B4	4
	シンポジウムに寄せて 中世総合資料学と歴史教育 : 北方世界の交流と変容					3
岡雅彦	グラフ旭川		320	グラフ旭川	B4	76
	アイヌの文化21 カムイ・ユーカラを訪ねて 強情なクマ神の話(2)					65
内田祐一(写真・文)	広報おびひろ		975	帯広市企画部広報課	A4	18
	アイヌの人々の生活108 イオル					18
榎原正文	北海道のつり 「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 24 外道の王様『カラス貝』	35	8	417 水交社	B5変型	146 108~109
[別海町郷土資料館] 戸田峯雄	別海町郷土資料館だより 「加賀家文書」の調査・研究から その17			73 別海町郷土資料館	A4	2
佐久間達夫	伊能忠敬研究 伊能忠敬がメモしたアイヌ語			41 伊能忠敬研究会	B5	72 66
	歴史学研究会(編) 歴史研究の現在と教科書 : 「つくる会」教科書を問う			青木書店	A5	245
岩崎奈緒子	アイヌ民族問題と「つくる会」教科書					182~192
釧路アイヌ文化懇話会(編)	久摺 第11集			釧路アイヌ文化懇話会	A5	177
古谷達也 伊藤せいち 大場英保 高木喜久恵 増野光教 前山尚子 秋辺日出男  小林攻一 中村一枝 磯辺恵津子 福浦寛 浅野恵子 松本成美	「伊能大図」と久摺 山本多助氏のアイヌ語 クナシリ・メナシの戦いを考える 祖先からの伝言 アイヌの精神文化 アイヌ料理を作って食べよう 昔の青年の主張 平成15年度北海道ウタリ協会青年・女性の集い基調講演講義録。 邪馬台国との出会い 永久保秀二郎集録 「アイヌ語雑録」の語彙検討 アイヌに生まれて トコロ紀行 トミカラアイノ余話 アイヌ語地名覚え書(一) 動植物・人体・信仰 故 浦田広胖氏追悼特集 故人の足跡(松本成美)/浦田広胖略年譜/金成太郎とベテロス(盤木良武太)の復権をめざした浦田先生/故 浦田広胖(ペンネーム遊)さんを偲んで(加藤賢)/浦田先生、ありがとう(豊岡イヌヌ)/浦田先生ありがとう(前山尚子)/浦田先生追悼(山本悦也)/『のちのかたみに』に想う(稲作高子)/浦田先生をしのんで(畠山歌子)/浦田遊氏への追悼(斎藤忍)/浦田さんのこと(鈴木史朗)/浦田先生安らかに眠ってください(福浦寛)/花の中でゆっくり眠ってください(浅野恵子)					6~16 17~31 39~43 44~66 67~71 72~74 75~91  92~93 94~116 117~118 119~126 127~150 151~155 159~174
	れら(rera)東北		6	東北アイヌ語地名研究会	A4	4
	旧小川村(現岩泉町)のアイヌ語地名(佐々木隆三)/和賀川流域の二・三のアイヌ語地名(菊池国雄)/地名研究と文献史学の接点をさぐる(阿部和夫)/薄衣も黄海もキーワードは同じ(村崎恭子)/「レラ」の周辺(西成辰雄)/黄海は薄衣と同じではないか(阿部和夫) 研究会発表要旨掲載。					
松本新	よだん アイヌを描いた文学 山中峯太郎『民族』		1	文友社出版	B5	36 26
鷺沢セツ 中村一枝	女性史研究はっかいどう		2	札幌女性史研究会	A5	221
	20世紀から21世紀へ『遙かなる彼方』物語 ミス・ブライアントの平取におけるアイヌ民族への伝道(2) 1911~1922年 : CMS史料を通して					108~132 160~174
崎谷満	DNAが解き明かす「日本人」の系譜			勉誠出版	A5	194
東洋音楽学会第56回大会実行委員会(編)	東洋音楽学会第56回大会プログラム 関係項目: [公開講演会] 口琴の音を解剖する(阿部和厚)/[公開演奏会] 北の楽器 トンコリ・ムツクリ・ホムス/[研究発表] 『アイヌ伝統音楽』のその後 : 旭川の座り歌・踊り歌に関する調査報告(甲地利恵)/北の先住民は甲板で何を観(聴)せたか(谷本一之)			東洋音楽学会	B5	43

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
ヘルベルト・ブルジョウ	江戸の旅日記 集英社新書0304F 古川古松軒の批判的精神 日本民俗学の父と言われる男・菅江真澄 松浦武四郎の蝦夷探検			集英社	新書	238 69~105 107~124 201~212
アイヌ民俗資料館	広報しずない 地名の語源探訪 : ちのみ		693	静内町	A4	20 20
橋本潔	チョコレートはアイヌ語! コプタン			新風舎 25 コプタン文学会	A5	254
須見光夫(筆録) 木名瀬高嗣 丸山隆司 森義昭 森義昭	札幌東高等学校歴史学研究同好会生徒と鳩沢佐美夫の対談 [資料紹介] 鳩沢佐美夫、もうひとつの「折鶴」 「証しの空文」 : 鳩沢佐美夫論にむけて1 誌二編 鳩沢佐美夫と『日高文芸』のこと				A5	2~47 48~59 60~68 69~72 73~81
鳴門教育大学国語教育学会(編) 小野米一 橋尾直和	語文と教育 アイヌに関する国語教書教材 小野米一先生のご業績について 土佐方言・アイヌ語・琉球語とオーストロネシア語との比較 : アイヌ語「hese」との比較を中心に		19	鳴門教育大学国語教育学会		1~21 22~23 24~32
田村雅史 中川裕	ユーラシア言語文化論集 名詞抱合からみたアイヌ語の二つの再帰接頭辞 si-と yai- : 意味的差を求めて アイヌ口承文芸テキスト集6 白沢ナベ口述 兄に殺されかけ、犬に救われた		8	千葉大学ユーラシア言語文化論講座	B5	203 31~51 151~184
豊原照司	釧路市立博物館館報 釧路川水系の遺跡15 中流域の送り場(標茶町) その1		390	釧路市立博物館	B5	12 3~7
札幌市教育委員会文化資料室(編) 古村えり子	「新札幌市史」機関誌 札幌の歴史 [市史を読む] 3 第5巻通史5(下) : 「社会・生活」を中心に 「マイノリティの社会運動」の項あり。		49	札幌市、札幌市教育委員会	A5	86 71~74
	げんき ポロトコタンの夜の祭主をつとめる (財)アイヌ民族博物館伝承係長 山丸郁夫さん 夜の幻想的なポロトコタンをご覧ください		540	白老町企画課広聴広報係	A4	28 12
手島武雅	人権と部落問題 インディアン信託財産裁判 : 概要とアイヌ民族共有財産裁判への意味合い	57	9	734 部落問題研究所	A5	36~45
吉田正生	北海道教育大学紀要 教育科学編 中学校社会科歴史教科書に現れたアイヌ民族関係記述について(その3) 中近世史記述に限定して	56	1	北海道教育大学	A4	173~182
広島県立大学(編) Herbert John	広島県立大学論集 日本における少数言語の復活 : アイヌ語の場合	9	1	広島県立大学		27~42
日本博物館協会(編)	博物館研究 [支部が推薦する博物館情報] (1) 北海道支部 私立アイヌ民族博物館の必死	40	8	447 日本博物館協会	B5	21~25
留萌市海のふるさと館(編)	海峡を越えてきた武具 : 中世の蝦夷地 留萌市海のふるさと館第17回特別展図録 古代末から中世の蝦夷地/和人の渡海による武具の渡海/アイヌの人たちと和人との交易による渡海/日本の甲冑の移り変わり/北海道内出土の兜鉢/刀剣の移り変わり/留萌市コタン浜出土の渡来銭/余市町の遺跡/展示資料写真図版/留萌市コタン浜出土の渡来銭及模倣銭一覧			留萌市海のふるさと館	A4	38

2005年9月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
<b>【2005年9月】</b>						
岡雅彦	グラフ旭川		321	グラフ旭川	B4	72
	アイヌの文化22 カムイ・ユーカラを訪ねて 強情なクマ神の話(3)					59
	郷土誌あさひかわ	46	9	476 郷土誌あさひかわ	B6	70
	[ほん] チカップ美恵子編著-道新発行「森と大地の言い伝え」 [カラーページ] 川村カトアイヌ記念館 新チセのお祝い儀式					24 28~29
新谷正隆	秋地名研究年報		20	秋地名研究会	B5	36
	西木村のアイヌ語地名 『秋地名研究年報』8号(1992年)掲載の論考に加筆したもの。					19~27
榊原正文	北海道のつり	35	9	418 水交社	B5変型	146
	「ほいど」浜師のアイヌ語紀行 Vol. 25 『サニナイ』にご注意					103~105
	北方ジャーナル	34	9	432 北方ジャーナル	A4	110
	[NEWS LINER]ウタリ協会門別支部・吉田昇支部長が貸金請求訴訟で完全敗訴					13~14
[別海町郷土資料館] 戸田峯雄	別海町郷土資料館だより 「加賀家文書」の調査・研究から その18		74	別海町郷土資料館	A4	2
加来耕三	真説 日露戦争 アイヌの勇士と乃木大将			出版芸術社	A5	252~255
宮島利光ほか(著)、信州夏期宣教講座(編)	日本宣教の光と影 : アイヌ伝道等をめぐって 関係目次: アイヌ民族と宣教/アイヌ民族について			いのちのこば社		
盛岡市先人記念館(編)	盛岡市先人記念館だより		35	盛岡市先人記念館	B5	8
	シリーズ講座再録 第1回「金田一京助と柳田国男」					4
足寄町史編さん委員会事務局	井上図書目録 郷土史研究者であり足寄町史編さん専門員でもある井上寿氏が2003年11月に足寄町に寄贈した図書の目録。			足寄町	A4	412
農山漁村文化協会(編) 萩中美枝、藤村久和、 村木美幸	現代農業 別冊 鳥害・獣害 こうして防ぐ 狩猟と採集の民 アイヌの食 同社刊『聞き書 アイヌの食事』から「はしがき」(萩中美枝)、「陸海獣の食べ方」(藤村久和)、「熊の霊送りと料理」(村木美幸)を転載したもの。			農山漁村文化協会	A5	191 139~145
	北方領土文化日口共同学術交流実行委員会	北方領土の神社 : 千島・北方領土 社寺教会日口共同調査報告書			北海道神社庁	B5
北野信彦	近世出土漆器の研究 アイヌ関連遺跡の近世出土漆器 緒言/一 文献史料の調査/二 北海道蝦夷地におけるアイヌ漆器の出土状況/三 出土漆器の調査/四 考察/結論 同書第四章。全体の序論、結論、口絵写真等にも関連記述、資料あり。			吉川弘文館	A5	404 304~331
	中園英助	鳥居龍蔵伝 岩波現代文庫社会119。初版は岩波書店、1995年。初出は『世界』連載1993~94年。 「コロボックル」の謎を追って			岩波書店	文庫
北海道開拓記念館(編) 山田伸一 林昇太郎	北海道開拓記念館だより	35	2	188 北海道開拓記念館	A4	8
	講座 人とエゾシカ 学芸員の研究ノートから10 モナ・リザになった私					5 7
平佐修	ノースアングラーズ	8	9	38 つり人社	A4	130
	北海道面白川名散歩 第38歩 信仰3					99
	週刊ポスト	37	36	1822 小学館	B5	220
	[9.11衆院選 私の大好き] アイヌ弁当/多原香里					14
北海道合同教研事務局(編) 清水裕二	北海道の教育 2005年版 国際連帯運動の基本の具体化から学ぶ			合同教育研究全道集会実行委員会	A5	303 256~258
	地図中心 特集: 世界自然遺産知床 松浦武四郎の見た知床半島 知床を紹介したいろいろな地図		396	日本地図センター	A4	45 14~16 23~25

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
小林純子、山川拓郎、 上森奈穂美、田中洋一 岡本依子 平田篤史	先住民族の10年 News 「平取町・二風谷フォーラム2005」に参加して(上)		117	先住民族の10年市民連絡会	B5	20 7~10
	先住民族エコツアー@知床 12回目を迎えた コシヤマイン慰霊祭					14~15 16
松木新	よだん アイヌを描いた文学 今官一『巨いなる樹々の落葉』		2	文友社出版	B5	36 25
	週刊新潮 鈴木宗男 当選確率61% 切り札は「アイヌ美女」 特集記事「小泉台風当落天気予報」の一部	50	35	2513 新潮社	B5	168 138~139
青森県立郷土館(編)	青森県立郷土館だより 【講演要旨】佐々木利和「笹森儀助 北へのまなざし」	36	3	134 青森県立郷土館	A4	4 2
	北海道立地質研究所広報委員会(編)	地質研究所ニュース	21	2	78 北海道立地質研究所	A4
高清水康博	地層の中から見つかった過去の津波の痕跡と、アイヌの津波伝説					3
鏡味明克	人間文化 北海道におけるアイヌ語地名の好字への書き替え・読み替え			20 愛知学院大学人間文化研究所	B5	342~335
	北海道れきけん 先住民族に見る詩歌の世界(四) 森竹竹市を紹介。			59 北海道歴史研究会	B5	20 2~3
水無月伶	先住民族に見る詩歌の世界(五) 江口カナメを紹介。					4~6
清水清次郎 地蔵慶護	本州の「舞台」地名は和語かアイヌ語か(3) ソロマ					7~9 19
アイヌ民俗資料館	広報しずない 地名の語源探訪 : けぼう			694 静内町	A4	20 20
	長谷川成一、千田嘉博(編) 佐々木史郎	日本海域歴史大系 第四巻 近世編 I 山丹交易と蝦夷地・日本海域			清文堂出版	A5
齋藤玲子 R R 中田	Arctic Circle (アークティック・サークル) 揺籠から墓場までの植物利用 : アイヌの事例を中心に 特集:多様な植物との関係2 [Arctic Square Books]『街道の日本史 アイヌの道』佐々木利和・古原敏弘・児島恭子編 [北函鑑] キハダ [編集後記]			56 北方文化振興会	B5	20 4~9 18 19 19
	早稲田大学大学院教育学研究科紀要別冊 アイヌ民族と教育権の保障についての考察	13	1	早稲田大学大学院教育学研究科		293~303
	北海学園大学 開発論集 [研究ノート]社会影響評価の手法と二風谷ダムの事例			76 北海学園大学開発研究所	B5	149 89~109
豊原照司、塚本浩司、 坂井通子 平山裕人	北方探究 清里町札弦チャシ出土の擦土土器(北海道・東部) アイヌの蜂起とウカルの論理			7 北方懇話会	B5	45 13~20 34~45
	考古学研究会(編) 臼杵勲 北方社会と交易 : オホーツク文化を中心に	56	2	考古学研究会	B5	42~52
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編) 小川正人	アイヌ民族文化研究センターだより 「アイヌ文献目録 2003」について 公開している資料について (1) 音声・映像資料			23 北海道立アイヌ民族文化研究センター	A4	8 3 4~5
	広報びらとり 【町のひろば】第36回チブサンケ、平取町二風谷フォーラム2005			548 平取町役場	A4	10 4
松井一博	国際公共政策研究 ラムサール条約における参加型環境管理	10	1	17 大阪大学大学院国際公共政策研究科		139~159

2005年9月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
阿部敏夫	北星学園大学文学部 北星論集 北海道民話の研究 (その3) 工藤梅次郎『アイヌ民話』の考察	43	1	44 北星学園大学		65～76
法政大学史学会(編) 坂田美奈子	法政史学 出稼ぎ和人の語る「蝦夷人介抱」 : 18世紀後半蝦夷地におけるアイヌ-和人関係の実践			64 法政大学史学会		20～38

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
<b>【2005年10月】</b>						
岡雅彦	グラフ旭川 アイヌの文化23 カムイ・ユーカラを訪ねて 強情なクマ神の話(4)		322	グラフ旭川	B4	74 61
	ボルカノ 創作 岡村正吉自伝史 7	10	3	38	道南政経	B5 50~53
岡村正吉	観光会議ほっかいどう			15	じゃらん観光ビジネス研究プロジェクト	A4 23
	北海道遺産シリーズ2 サケの文化					22
森雅人	月刊染織α [染織文献データBOX]93 アイヌ・北方民族の染織と衣服(1)			295	染織と生活社	64
	日本児童文学	51	5	559	日本児童文学者協会(発行)、小峰書店(発売)	A5 119
榊原正文	[新人登場] アイヌ民族の子どもの現在を描いて					108
	北海道のつり 「ほいど」浜師のアイヌ語紀行 Vol. 26 Anyone ins't ENIWA	35	10	419	水交社	B5変型 146 103~105
『飛磔』編集委員会(編)	飛磔			48	つぶて書房(発売:れんが書房新社)	A5 111~118
白川せつ子	「アイヌ文化振興法」体制賛美の教科書に抗議する : 扶桑社など三社に謝罪と写真取り下げ要求					111~118
	[別海町郷土資料館] 戸田峯雄	別海町郷土資料館だより 「加賀家文書」の調査・研究から その19 : 根室のアイヌの人たちが見た箱館の街(「御目見付添日記」から)			75	別海町郷土資料館
考古学を学ぶ会(編) 三宅正裕	考古学論集 アイヌを使ったサケ・マス漁 : 木戸竹石筆『北海道土人獲鮭図襖』から見たもの			6	歴史堂書房	B5 203 141~154
浅井建爾	日本の地名雑学事典 北海道の地名はアイヌ語だらけ/北海道の地名に「内」や「別」が多いのはなぜ?/主なアイヌ語地名/北海道の14支庁の地名の由来				日本実業出版社	B6 244
田中無格 田中無格	蝦夷地に生きた近江商人 マシケ場所とアイヌ				田中無格	86~87
日本地名研究所(編)	地名談話室 合併号 日本地名研究所発行『全国地名研究交流誌 地名談話室』1~19号及び「平成の大合併」特集号の合本。各号にアイヌ語地名関係記事などあり。				日本地名研究所	B5 192
豊村一矢	LERA・風 創作児童文学同人誌			3	「LERA・風」事務局	B6 110
とよむらいつし 上井澤ひろし	〔創作〕カムイ親子 〔創作〕風の橋(三)					64~68 68~107
木立大忍、木立真理、福田茂夫	善光寺資料総目録 善光寺資料総目録刊行によせて/善光寺資料総目録/有珠善光寺の沿革と時代背景/善光寺歴代住職と事蹟/有珠地区関連の編年表				善光寺	B5 112
伊藤哲也(取材・文)	おとなのいい旅北海道			2005年 秋号	リクルート北海道じゃらん	A4 136
	アイヌ語地名をたどる 第3回 標津(シベツ)					110
朝倉利光 朝倉利光 岩崎ささみ	第4回 日露国際シンポジウム 10月3~6日に開催されたシンポジウムの報告資料。				北海学園大学	A4 74
	B.ピウスツキーとサハリンアイヌ民族 光学的方法による音声文化遺産探査・復元 : B.ピウスツキーとサハリンアイヌ民族					1~4 5~10
	北方地域における環境・文化と先住民族 : カナダと北海道の事例					57~59
平野美幸、小林純子、中村康利 佐藤真起	先住民族の10年 News 「平取町・二風谷フォーラム2005」に参加して(下)			118	先住民族の10年市民連絡会	B5 20 8~11
	関東におけるアイヌの生活文化伝承の地「カムイミントラ」					4~7

2005年10月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
越田清和	新しいチセができました 川村カ子トアイヌ記念館					13
時田則雄	野男の短歌流儀 地名を旅する 遼星北斗の歌 アイヌ民謡を聞きながら			本阿弥書店	B6	163 67 149 153
善光寺200年記念フォーラム実行委員会	重要文化財蝦夷三官寺善光寺関係資料 図録			善光寺200年記念フォーラム実行委員会	A4	10
藤岡信勝	教科書が教えない歴史3 [普及版] 初版1997年。初出は『産経新聞』朝刊連載 (1996年11月12日付～1997年3月22日付のうち)			産経新聞社(発売:扶桑社)	B6	275
白川隆信	ユーカラを広めたアイヌの少女					41～43
工藤雅樹	古代蝦夷の英雄時代 第1章 蝦夷アイヌ説と蝦夷日本人説をめぐって/第2章 「エミシ」から「エゾ」へ/第3章 北日本の古代文化/第4章 蝦夷の社会構造/第5章 蝦夷の後裔/平凡社ライブラリー判あとがき/解説 『古代蝦夷の英雄時代』に学ぶ(入間田宣夫) 平凡社ライブラリー。2000年11月新日本新書として刊行されたものを一部改訂。			平凡社	16.5×11	294
入間田宣夫	解説 『古代蝦夷の英雄時代』に学ぶ					288～294
沙流川歴史館	沙流川歴史館だより 沙流川流域のいきものたち No.5 キタキツネ	19		沙流川歴史館	A4	8 2
松木新	よだん アイヌを描いた文学 長見義三『アイヌの学校』	3		文友社出版	B5	36 28
遠藤宏、遠藤美津恵	草の根福祉 アイヌ社会の文化と死生観 : 序報	37		社会福祉研究センター	B5	241 73～88
	谷中・根津・千駄木 [Mの旅日記] 知里幸恵と本郷森川町			谷根千工房	A5	19～23
北構保男(編)	アイヌ民族・オホーツク文化関連研究 論文翻訳集			北地文化研究会	B5	137
シュテルンベルグ(著)、北構保男(訳)	アイヌ人におけるイナウ崇拜					1～20
J.M.ディクソン(著)、北構保男(訳)	対雁アイヌ人 初出は『日本アジア協会雑誌』第11巻					21～32
A.H.サベージ・ランドーア(著)、北構保男(訳)	ひとり蝦夷地を行く : 釧路・根室・千島・北見の部					33～91
B.フィッツフュー、V.O.ショービン、手塚薫ほか(著)、北構保男(訳)	千島列島の考古学 : 人類古生物地理学と北太平洋先史学の進展					92～127
別府春海、C.S.チャード(著)、北構保男(訳)	オホーツク海の史前海洋文化 初出は『北海道考古学』第6輯(1970年)					128～157
市民文芸編集委員会(編) 田口耕平	市民文芸 福永武彦論 封印と暗号 : 隠された帯広体験 第4章「封印された作品『海からの声』」「アナグラムとしてのアイヌ語」などあり。	45		帯広市図書館	A5	291 142～153
アイヌ民俗資料館	広報しずない 地名の語源探訪 : うせない	695		静内町	A4	20 20
山口敏(編)	日本の人類学文献選集 近代篇 第1巻 坪井正五郎、F.S.モールスほか				A5	
山口敏(編)	日本の人類学文献選集 近代篇 第2巻 小金井良精				A5	606
山口敏(編)	日本の人類学文献選集 近代篇 第3巻 八木奨三郎、足立文太郎				A5	679
山口敏(編)	日本の人類学文献選集 近代篇 第4巻 鳥居龍蔵、濱田耕作、松村瞭(一)				A5	622
山口敏(編)	日本の人類学文献選集 近代篇 第6巻 長谷部言人(一)				A5	584
山口敏(編)	日本の人類学文献選集 近代篇 第7巻 長谷部言人(二)、清野謙次				A5	584
山口敏(編)	日本の人類学文献選集 近代篇 第8巻 昭和前期の研究者				A5	554

2005年10月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
時事通信社	内外教育 アイヌ伝統文化を体験(11) 北海道平取町立二風谷小学校		5604	時事通信社		8~9
真田信治、庄司博史 中川裕	事典 日本の多言語社会 アイヌ・アイヌ語			岩波書店	B6	397 162~165
内藤千珠子 内藤千珠子	帝国と暗殺 : ジェンダーから見る 近代日本のメディア編成 植民地 同書第4章。構成 : 1北海道/2 アイヌ・病・女/3 滅亡とあわれみ/4 混血			新曜社	B6	412 119~158
	企画展 西平ウメとトンコリ 展示案内			アイヌ民族博物館	A4	12
大塚康壽 西片聡哉	国際人権 [資料] 国際人権法主要文献目録 [資料] 日本における国際人権訴訟主要判例一覧 (3)		16	国際人権法学会 (発売 : 信山社・大学図書)	B5	176
東村岳史	社会言語学 「危機言語」調査をめぐる「危機」認識と表象 : 「千島アイヌ語絶滅の報告」に関する考察補遺		5	「社会言語学」刊行会	B5	1~12
	Yay Yukar Park 2005夏のキャンプ/最近までの活動報告/初めてのヨーロッパ 49回ピースボートの旅/ [ごまめの歯ざり] 選挙以後…/西本願寺札幌別院・連続差別落書き事件のその後/麻生太郎総務大臣 小泉純一郎総理大臣への抗議・質問状		51	ヤイユーカーの森	B5	42
山本芳美	イレズミの世界 アイヌにも及んだ規制			河出書房新社	B6	383 259~261
中川裕 佐々木利和 榎森進 奥田統己 本田優子 本田優子 本田優子 奥田統己 奥田統己	シンポジウム&公開講座報告集 アイヌ文化研究の今① アイヌの歴史と物語世界 I シンポジウム/討論/II 公開講座/資料 (シンポジウム予稿集) 以下のシンポジウム、講座の各報告には、それぞれ討論、質疑応答もあり。 アイヌ文学の基礎知識 歴史資料としての口承文芸の可能性 ユーカーの歴史性を考える アイヌ文学から歴史をどう読みとるか アイヌの歴史と物語世界 9・19シンポジウムの紹介と解説 アイヌ口承文芸について 英雄叙事詩と散文説話 歴史研究とアイヌ口承文芸(1) 歴史研究とアイヌ口承文芸(2)			札幌大学ベリフェリア・文化研究所	A5変型	162 7~18 19~28 29~39 40~51 80~81 82~99 100~122 123~136 137~152
八幡耕一	情報文化学研究 オルタナティブ・メディアの情報文化学的考察 : アイヌ民族関連ラジオ放送の実態調査を事例として		4			7~13
鍋澤保(談) 草薙美寿子(談)	二風谷アイヌ語教室 広報紙 紫雲古津でのイヨマンテ 訪問インタビュー 第78回 講義風景(2)		80	平取町二風谷アイヌ語教室	B5	10 1~2 4~6 7
	北方関係を主にした 弘南堂古書目第46号			弘南堂書店	B5	194
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成17年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 3 講師菅原勝吉			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	32
国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部二風谷ダム管理所(監修)	にぶたに湖周辺のいきものたち 発行年月日記載なし。発行年月は発行時送り状の日付による。			国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部二風谷ダム管理所	17×11	154
全国保育問題研究協議会編集委員会(編) チカupp美恵子	季刊 保育問題研究 特別講座 共生の道しるべ : アイヌ民族の文化を創造する		215	新読書社		186~203

2005年11月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ	
<b>【2005年11月】</b>							
	文化情報 アイヌ絵と思われる掛け軸の謎を追って 大津・十勝川学会でセミナー		283	北海道文化財保護協会	B4	4	
	FRONT	18	2	206	財団法人リバーフロント整備センター	A4	69
児島恭子	特集：アイヌが辿った水の道 北方交易の豊穡 アイヌ民族の交易の歴史 交易品目録〔① 山丹人▶アイヌ▶和人 ②アイヌ民族▶和人 ③和人▶アイヌ民族▶山丹人 ④アイヌ民族▶山丹人 ⑤和人▶アイヌ民族〕					4~7 8~9、 13、15	
相田潤、宮畑周平ほか 入松田倫子 〔編集部(構成)〕 アシリ・レラ	北大探検部の「勇払越え」追体験 : アイヌ民族の交易路を辿る 昆布ロード譚 : 北の海から琉球、そして清へ 北の宝船 交易船のかたち 川と暮らす : アイヌ民族の祈り					10~12 14 16~17 18	
岡雅彦	グラフ旭川 アイヌの文化24 カムイ・ユーカラを訪ねて 鼻長ネズミが語った話		323	グラフ旭川	B4	70 59	
浜田裕木子、国立民族学博物館 MCD プロジェクト	月刊染織 α 〔染織文献データ BOX〕94 アイヌ・北方民族の染織と衣服(2)		296	染織と生活社		64	
榎原正文 〔別海町郷土資料館〕 戸田峯雄 吉良平治郎研究会(編)	北海道のつり 「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 27 別海町郷土資料館だより 「加賀家文書」の調査・研究から その20 アイヌ通送人 吉良平治郎研究資料集成	35	11	420	水交社	B5変型 103~105	
北海道立文学館、北海道文学館	ガイド 北海道の文学 北海道の小説・評論/アイヌ民族の文学/北海道の詩/北海道の短歌/北海道の俳句/北海道の川柳/北海道の児童文学/北海道文学史略年表/フォトガイド 北海道の文学/データベース 北海道の文学碑				北海道立文学館、北海道文学館	A4	40
知里むつみ	アイヌ民族の文学 知里森舎通信			16	知里森舎	B5	10~11 12
STV ラジオ	ほっかいどう百年物語 第6集 田上義也 : 北方建築の基礎を創った情熱の建築家 永久保秀二郎 : アイヌ教育に生涯を捧げた教育者				中西出版	B6	442 31~43 235~246
	第9回アイヌ語弁論大会プログラム イタカン ロー アイヌ語で話しましょう 発行年月日記載なし。ここでは開催日(11月12日)による。				アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	153
川上竜也 黒田秀之 編集部	先住民族の10年 News 北海道の最東端での慰霊祭 ノッカマップ・イチャルパ参加記 アイヌ民族の写真が無断掲載された教科書をめぐって いつまでつづく「単一民族」発言 北海道ウタリ協会が抗議文を送付			119	先住民族の10年市民連絡会	B5	20 4~5 8~11 12~13
中村齋	とどまつ 回想 ロシア民族学博物館アイヌ資料展 北海道開拓記念館第60回特別展を紹介。 白夜の下にアイヌ民族の未来を見つけた 巻頭エッセイ	28		51	北海道開拓記念館・開拓の村文化振興会	B5	36 1 3
松木新	よだん アイヌを描いた文学 山中峯太郎『コタンの娘』			4	文友社出版	B5	36 27
永江朗 谷口一弘(編)	文芸春秋 特別版(11月臨時増刊号) 特集テーマ「最後の一冊 死ぬ前に読みたい本」 『アイヌ叙事詩 ユーカラ』金田一京助採録並に訳 『北海道教育新聞』『北海教育評論』 総目次・索引	83	14		文芸春秋	B5	216 182~183 441

2005年11月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
北海道開拓記念館(編) 田村将人	北海道開拓記念館だより 〔表紙写真解説〕 樺太島漁場実測図	35	3	189 北海道開拓記念館	A4	8 1
帯広叢書編集委員会(編)	虻田第二尋常小学校同窓会資料 2 口絵写真/1 文書綴1-4 (虻田第二尋常小学校同窓会) /2 出現語彙一覧/あとがき/3 原資料/			帯広叢書編集委員会	B5	250
西成辰雄 松橋由雄 笹原剛	地名 縄文語のことなど 地名「甘ー」について 菜切谷の地名			22 宮城県地名研究会	A5	108 12~14 15~25 59~73
アイヌ民俗資料館	広報しずない 地名の語源探訪 : ふかに			696 静内町	A4	24 24
田中伸尚 土井全二郎	週刊金曜日 複製版出版の控訴審結審 : アイヌ民族の人格権侵害事件の真相 義経伝説をつくった男 アイヌ教育に九年 小谷部全一郎評伝。			597 金曜日 光人社	B5変型 B6	24~27 269 128~167
圓尾公佑(編) 魚住昭 多原香里(編集部・取材)	100%ムネオマガジン ムネオ新党の可能性 アイヌ民族の立場から			イースト・プレス	A5	175 98~104 160~167
宮崎耕太	アイヌ語地名研究会会報 『地名アイヌ語辞典』の第2回勉強会が終わる アイヌ語地名が大好きです……どうぞよろしく〔新入会員自己紹介〕 「アイヌ語地名の近現代史に関するノート」の紹介			25 アイヌ語地名研究会	B5	8 1~4 5 5~6
川奈野惣七(談) 南みどり(談)	二風谷アイヌ語教室 広報紙 イオル再生事業の行方 訪問インタビュー 第79回 講義風景(3) 鍋澤保氏による「ウバクマ」			81 平取町二風谷アイヌ語教室	B5	10 1~2 4~6 7
	部落解放・人権図書目録 2006年版 アイヌ問題			23 部落解放・人権図書目録刊行会	A5	133 90~92
萱野茂	イヨマンテの花矢 続・アイヌの碑 イヨマンテの花矢/二風谷小学校を残す/木彫りとの出会い/民具とともに五十年/ユカッとウウエベケレ/アイヌ研究と学者たち/船下ろし祭り/違法ダム/たった二人の反乱/二つになったアイヌ資料館/葬式はアイヌプリで/思いもかけなかった立候補/当選前夜のカムイイタッテ/アイヌ語が国会に響く/議員生活雑録/わたしの旅と先住民族/あとがき			朝日新聞社	B6	221
苫小牧駒澤大学(編) 植木哲也	苫小牧駒澤大学紀要 児玉作左衛門のアイヌ頭骨発掘(1) 背景と概要			14 苫小牧駒澤大学	A5	136 1~28
国際経済研究センター(編) 高瀬浄	国際経済研究 呪われる現代世界と問われる文明 : ケルト文化とアイヌ社会の古層によせて			281 国際経済研究センター		1~12

2005年12月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
<b>【2005年12月】</b>						
岡雅彦	グラフ旭川		324	グラフ旭川	B4	70
	アイヌの文化25 カムイ・ユーカラを訪ねて ウサギのエカシ(お爺さん)が語った話(1)					57
吉田邦彦	ジュリスト		1302	有斐閣	B5	176
	アイヌ民族の民法問題 : 所有権の問題を中心として(上)					62~71
青柳千子	セーヴェル		22	ハルビン・ウラジオストックを語る会	B5	88
	千島列島へのロシア人南下と千島アイヌ2					31~39
	メディアあさひかわ		152	メディアあさひかわ	B5	173
	「メディアアイ」吹き荒れる民芸品不況、トミヤ郷土民芸社が近文工場を閉鎖					40
内田祐一(写真・文)	広報おびひろ		979	帯広市企画部広報課	A4	20
	アイヌの人々の生活109 葉っぱのアイヌ語名					20
宗田實	山形方言		37	山形方言研究会		
	山形方言と日本語の祖先 : アイヌ語的語彙を通してかいま見る					33~37
榊原正文	北海道のつり	35	12	421 水交社	B5変型	146
	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 28 冬季五輪から三十余年!!					103~105
三橋誠之	北海道方言研究会会報		81	北海道方言研究会	B5	109
	地名藻岩・遠軽・五十嵐の謎 : 地名藻岩・遠軽・五十嵐の語源について					25~28
小野米一	第163回例会発表資料(2005年6月12日)。 アイヌに関する国語教科書教材 第165回例会発表資料(2005年11月13日)。					60~80
[別海町郷土資料館] 戸田峯雄	別海町郷土資料館だより 「加賀家文書」の調査・研究から その21		77	別海町郷土資料館	A4	2
小畑弘己(編)	極東先史時代の穀物 日本学術振興会平成16年度科学研究費補助金(基盤研究B-2)「雑穀資料からみた極東地域における農耕受容と拡散過程の実証的研究」中間研究発表会論文集			熊本大学埋蔵文化財調査室	A4	138
山田悟郎	北海道の遺跡から出土した栽培植物					49~68
塩出浩之	ビジュアル・ワイド 明治時代館			小学館	B4変型	606
	樺太・千島交換条約と北海道の開拓 「アイヌ困窮を招いた政策」との項目のほか関係写真など掲載。					140~141
塩出浩之	南樺太の領有					508~509
太宰幸子 山本修平	地名談話室		20	日本地名研究所	B4	10
	アイヌ語地名「オサナイ」の確認 釧路地方のアイヌ語地名について					2 8
上村英明 上森奈穂美	先住民族の10年 News		120	先住民族の10年市民連絡会	B5	20
	単一民族国民国家発言・2005をどう考えるべきか アイヌ民族と歩む「共生の学び」をつくりだすために					2~3 6~7
松木新	よだん		5	文友社出版	B5	36
	アイヌを描いた文学 菊田一夫『リラの花忘れじ』					24
アイヌ語地名研究会(編)	アイヌ語地名研究		8	アイヌ語地名研究会	B5	185
尾崎功	知床半島のアイヌ語地名 : 知床・世界自然遺産登録記念					1~20
戸辺千春	十勝湖沼群海岸夏、松浦武二郎に習い歩む					21~34
井口利夫	試論・「モイワ」考 : 全道の地形図に「モイワ」を探す					35~54
平隆一	空知における tapkop 地名 末尾に「参考A 栗山町イタイベツ川の「シヌマンチ」「参考B 美唄の地名「我路」がアイヌ語「カル(凹凸ある)」由来説の検討」あり。					55~74
榊原正文	アイヌ語地名三題					75~82
池田実	胆振の旧道を訪ねる 1					83~104
伊藤せいち	貫気別川筋のアイヌ語地名					105~117
横平弘	難読アイヌ語地名を考える : 「弟子屈」と「手師学」を事例として					119~121
清水清次郎	本州の「舞台」地名の語源はアイヌ語プトか(その2) : 中部地方の舞台地名とその立体地形					123~142
高木崇世芝	『東蝦夷地屏風』と『東蝦夷地名考』					143~152

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
佐藤知己	アイヌ語地名と言語学 第9回アイヌ語地名研究会(2005年6月9日)における講演に基づくもの。 【談話室】言語漫談					153~180 181~182
鳴海日出志						
山田幸一	北海道の重大事件史			寿郎社	A5	290
山田幸一	北方領土海域での日ソ合併事業 : ウタリ共同事件					215~216
山田幸一	民族の共有財産のゆくえ : アイヌ民族共有財産訴訟					97~98
吉田邦彦	ジュリスト アイヌ民族の民法問題 : 所有権の問題を中心として(下)		1303	有斐閣	B5	200 48~62
平田剛士	週刊金曜日 【金曜アンテナ】最高裁はアイヌ民族の声を聞け!		586	金曜日	B5変型	4
北海道立北方民族博物館(編)	北方民族博物館だより		59	北海道立北方民族博物館	A4	12
斎藤玲子	第20回特別展 アイヌと北の民族植物学 たべる・のむ・うむ 特別展開連講演会 草木のいのりを食す 山岸喬「アイヌの植物利用 : 近隣民族との類似点」 親子講習会 ウバユリからでんぶんを探ろう アットウシ織り体験とキナ織り体験 北の文化・体験スクール 山の幸を使ったアイヌ料理					2 3 4 4~5 5
萱野茂 萱野志朗 木村盛武	モーリー 特集: ヒグマ考 陸の王者の博物誌 クマ送り 食べ物としてのクマ 熊皮と故事		13	北海道新聞社	B5	120 26~30 31~33 34~38
宇田川洋	増補改訂 アイヌ伝承と岩 北方新書007。同社から1981年に発行した単行本の増補改訂版。本文の増補改訂のほか、「増補版に当たって」を加える。			北海道出版企画センター	新書	273
竹内渉	けーし風 【北の風南の風】キムンウタリ(南北)の塔イチャルバ(供養祭)		49	新沖繩フォーラム刊行会議	A5	74 62~63
狩野義美	文芸にいかっぶ 古川足(アシンノカル)の生涯(その二)		23	新冠文芸協会	A5	147 110~116
史学会(編) 熊木俊明	史学雑誌 アイヌ史における文献史学と考古学の役割 史学会第103回大会考古学部会(「蝦夷地と琉球 考古学的・文献学的比較研究の可能性を探る」)報告	114	12	史学会	A5	2071~ 2072
新谷尚紀、関沢まゆみ(編) 藤村久和 藤村久和 藤村久和	民俗小事典 死と葬送 カソマンテ チシナオツ シンヌラッパ			吉川弘文館	B6	423 136~137 137 310~311
辛淑玉(監修)、人材育成技術研究所(編)	クイズウルトラ人権100問 問題1 日本は単一民族である。/問題2 ウコチャランケとはアイヌ語で「戦う」ということである。目次のタイトルは、それぞれ「日本は単一民族?多民族?」「アイヌのことば」。			解放出版社	B5	225
川村湊(編) 梅澤亜由美	津島佑子 現代女性作家読本3 『「私」』 : 口承文芸と現代小説との融合 『私』は1995年新潮社刊。			鼎書房	A5	157 132~135
北海道立図書館北方資料部(編)	北の資料 北海道立図書館ブラングエ文庫新聞目録(「アイヌ新聞」集録あり)。		116	北海道立図書館	A4	73
R 星護俊	Arctic Circle (アークティック・サークル) 【北国鑑】テンキグサ(ハマニンニク) コレクションの系譜15 毛利総七郎コレクション		57	北方文化振興会	B5	20 19 12~13
千葉綾子 花輪陽平、藤村久和	北海学園大学学芸員課程学事報告書 アイヌ語由来の地名 : 古平町 葛野辰次郎翁が綴ったアイヌ文化資料の翻刻(ノート No. 3)		10	北海学園大学学芸員課程	B5	247 35~39 56~247
花輪陽平、藤村久和 藤村久和	北海学園大学学芸員課程学事報告書 知里真志保フィールドノート(5)、(11)への補注 『蝦夷国夜話』及び、『蝦夷国私記』の翻刻		11	北海学園大学学芸員課程	B5	249 47~121 122~248

2005年12月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
前田菜穂子	ヒグマが育てる森 はじめに/第1章 山の神 : キムンカムイと萱野茂さん/第2章 クマ絶滅の近代史/第3章 私たちの挑戦 (「アイヌの伝統猟師たち」などの項あり)/第4章 ベアパーソン : 野生との共生に向けて/第5章 ヒグマが育てる森/おわりに/資料 (「ヒグマの関係機関」など)			岩波書店	B6	213
清水恵 清水恵	函館・ロシア その交流の軌跡 覚書・モイセイ馬場脩の生涯 : 北方民族研究に捧げた人生 初出は『地域史研究はこたて』31号(2000年)			函館日文化交流史研究会	B6	43~64
須田茂 須貝光夫	コプタン 遼星北斗と鳩沢佐美夫 鳩沢佐美夫がかかわった三つの同人誌(上) 鳩沢佐美夫と日高文学		26	コプタン文学会	A5	95 2~7 8~32
佐藤理香	観光会議ほっかいどう 食文化を発信! アイヌ伝統食材による創作会席 札幌グランドホテル和食料理長 今平博志さん		16	じゃらん観光ビジネス研究プロジェクト	A4	23 23
アイヌ民俗資料館	広報しずない 地名の語源探訪 : さめ		697	静内町	A4	20 20
奈良文化財研究所(編) 藤本強	日本の考古学 下巻 北と南の考古学 : 北海道と琉球諸島 ページは上巻からの通し番号。			学生社	B5	666~673
中西裕(編)、深井人詩(監修)	書誌年鑑 2005 アイヌ史『アイヌ史新聞年表 「小樽新聞」(明治)編』(河野正道) 國學院大学コミュニティカレッジセンター			日外アソシエーツ	A5	
読売新聞社大阪本社(編) 小林健	モノ語り日本史 続・歴史のかたち 蝦夷の族長・アテルイ 悪路王の首像をみる 初出は『読売新聞』夕刊連載			淡交社	A5	214 164~168
宮本常一 宮本常一 宮本常一	辺境を歩いた人々 底本は『さえら伝記ライブラリー14』(さえら書房、1966年) 近藤重蔵 松浦武四郎			河出書房新社	B6	226 11~55 57~90
富川盛道 日野俊也	ダトーガ民族誌 : 東アフリカ牧畜社会の地域人類学的研究 富川盛道の『ダトーガ民族誌』について 「富川盛道博士の生涯」の項あり。			弘文堂	A5	429 397~414
西原廉太	キリスト教学 [書評]山口陽一ほか著『アイヌ伝道等をめぐって 日本宣教師の光と影』		47	立教大学キリスト教学会		259~262
	サッポロ堂古書目30 北海道文献目録2005			サッポロ堂書店	B5	246
	とちエテケカンパの会だより 2005年度			とちエテケカンパの会	B5	13
専修大学北海道短期大学(編) 魚井一由、廣田徹	専修大学北海道短期大学紀要 『M. M. ドブラトヴォールスキー著アイヌ語ロシア語辞典』に関する一私考(5) da~itanki その語彙・例文と石狩川流域を中心としたアイヌ語との比較		38	専修大学北海道短期大学		159~196
北海道埋蔵文化財センター(編)	オルイカ2遺跡2 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第221集			北海道埋蔵文化財センター	A4	

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
<b>【発行月記載なし】</b>						
大塚みやま	法学会誌 先住民族の権利とアイヌについて		55	明治大学法学会		95～125
環境社会学会編集委員会(編)	環境社会学研究		11	環境社会学研究		
細川弘明	異文化が問う正当と伝統 : 先住民族の自然観を手がかりに環境正義の地平を広げるための試論					52～69
九州大学大学院芸術工学研究院『芸術工学研究』編集委員会(編)	芸術工学研究		3	九州大学大学院芸術工学研究院		
板橋義三	アイヌ語の人称接辞体系の形成について					1～19
杉山女学園大学研究論集編集委員会(編)	椋山女学園大学研究論集 社会科学篇		36	椋山女学園大学		
上田伝明	アイヌ民族の現状と課題(1)					1～11
帯広二建会創立50周年編集委員会(編)	帯広二建会創立50周年記念出版 トカブチ : 十勝アイヌ語地名 1 北海道の地名/2 アイヌ語の地名/3 十勝のアイヌ語地名/添付地図1枚			帯広二建会創立50周年編集委員会	A4	20
國田修司	北に、生きる心むすんで : 民族歌舞団こぶし座40年の歩みと作品 小学生のための作品 マリモ伝説『マリモになった娘』台本 アイヌ・ネノ・アン・アイヌ			民族歌舞団こぶし座	A5	435 331～337 363～425
	平成16年度 財団の活動 財団設立の経緯/財団の目的・組織等/1年間の歩み/理事会・評議会及び各委員会の開催状況/事業実施体系/平成16年度財団事業の実施状況			財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通 巻	発行 者	判 型	ペー ジ
<b>【2004 補遺】</b>						
<b>【1月】</b>						
今津良一(取材・文)	サライ [サライ・インタビュー] 伊福部昭 作曲家・89歳	16	1	351 小学館	A4	190 14～18
山崎朋子、上笹一郎(編)	アジア女性交流史研究 底辺女性の証言1 アイヌ女性として 初出は『アジア女性交流史研究』第12号(1972年11月)			港の人	B5	710 460～464
岡本頼子	岡本さんのこと					464
山崎朋子	葛野さんの仕事 葛野辰次郎を紹介。初出は『アジア女性交流史研究』第18号(1977年2月)					690
岡本頼子	葛野辰次郎さんのこと 初出は『アジア女性交流史研究』第18号(1977年2月)					691
葛野辰次郎	生長語り 初出は『アジア女性交流史研究』第18号(1977年2月)					692～693
葛野辰次郎(伝承、筆録、訳)	アイヌ・ユーカー その1 天界の神様と人間祖先の伝説語り 初出は『アジア女性交流史研究』第18号(1977年2月)					693～703
<b>【2月】</b>						
	知里森舎通信			11 知里森舎	A4	9
川上實	美術ペン 「エコミュージアム オサシマセンター」アトリエ3モア			111 北海道美術ペンクラブ	A4	12
森竹竹市研究会(編)	森竹竹市遺稿集 ウウェベケレ			森竹竹市研究会	A4	106
<b>【3月】</b>						
長谷川成一	弘前藩 日本歴史叢書			吉川弘文館	B6	298
阿部富貴男	大津十勝川研究 渋江長泊著『東游奇勝』について		2	大津・十勝川学会	A4	46 46～41
新豊浦町史編纂委員会(編)	新 豊浦町史 文化財 町指定文化財アイヌ祭具一式(佐茂家)、町指定文化財カムイチャシ遺跡など。			豊浦町	B5	541 439～447
中村和之 岡田育子 北原次郎太 東俊佑 佐々木利和	環オホーツク 蝦夷錦と北方の交易 アイヌ文化伝承と地域の理解 木幣の分類について 近世後期カラフト探検と北東アジア情報 : 間宮林蔵観の変遷を中心に 講評			11 北の文化シンポジウム実行委員会	B5	72 15～27 35～38 39～54 55～64 65～67
佐々木亨(編)	ミュージアムのアイヌ文化展示における事前・形成的評価の実験的導入に関する研究 平成13～15年度科学研究費補助金研究成果報告書。 アイヌ文化に関する博物館展示の事前・事後評価			北海道大学大学院文学研究科佐々木研究室	A4	165 5～91
部落解放・人権研究所(編)	人権年鑑2003 アイヌ民族			部落解放・人権研究所	A5	338 46～49
北海道開発協会(編)	北見河川事務所30年史 アイヌの人びとと和人の定着			北海道開発局網走開発建設部北見河川事務所	A4	331 44～47
民俗芸能学会 民俗芸能研究文献目録編集委員会(編)	民俗芸能研究文献目録 北海道・単行本 北海道・論文			岩田書院	A4	413 14～16 13～14

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
<b>【4月】</b>						
稲田浩二(編集代表)	世界昔話ハンドブック			三省堂	A5	303
福嶋志	フクロウ神の村めぐり					33～34
稲田浩二	炉縁の化け					34, 36
稲田浩二	日本の昔話					206～207
内山敏文(編)	十勝人 心の旅 1 新得・上土幌・足寄・陸別			帯広信用金庫		
	アイヌの窮状					86～88
	他にも関係記事あり。					
<b>【5月】</b>						
	イーストサイド		9	バルク・カンパニー	A4	88
斎藤敬子	まちむら探訪記 第3回 音威子府「北海道命名の村」					25～27
宮地裕、甲斐睦朗(編)	日本語あれこれ事典			明治書院	B6	348
小野米一	北海道にはもともとアイヌが住んでいたそうですが、方言はどうやってできたのですか？					294～295
村崎恭子	アイヌ語は日本語の親戚なの？					295～298
	秋田の地名		38	秋田地名研究会	A4	4
新谷正隆	北秋田郡比内町のアイヌ語系地名					2～3
<b>【6月】</b>						
	まんだら		20	東北芸術工科大学東北文化研究センター	B5	40
杉崎満寿夫	仕掛け弓と稗 : 菅江真澄の道を行く旅から					33～34
	空知地方史研究		38	空知地方史研究協議会	A4	42
杉山四郎	武四郎碑に刻まれたアイヌ民族					7～10
	「同和」推進フォーラム		39	真宗大谷派同和推進本部	B5	20
	アイヌ民族共有財産訴訟 最高裁での闘いに注目を					15～16
桑原康彰	北海道の動物記 観察記録編			新生出版(発売:ディーディーエス)	B6	197
	ヒグマに出会った時の対処法					183～197
	「先輩やアイヌ人の助言」の項あり。					
<b>【7月】</b>						
朝倉利光	北海学園大学学報		57	北海学園大学	A3	8
	ろう管レコードに吹き込んだ人々	3		流浪の人類学者の録音(1) プロニ		3
	スワフ・ピウスツキ					
<b>【8月】</b>						
米田綱路(編)	抵抗者たち : 証言・戦後史の現場から			講談社	B6	289
北原きよ子	差別でなく、区別を求めて					186～215
前田速夫	余多歩き 菊池山哉の人と学問			晶文社	B5	366
	蝦夷とアイヌ					225～233
藤井貞和	物語理論講義			東京大学出版会	A5	236
	アイヌ語という物語の言語					120～131
<b>【9月】</b>						
北海道新聞社(編)	北の匠… 息づく伝統技術			北海道新聞社	B5変型	161
	アツシ織り 遠山サキ					40～45
上村英明(監修)	グローバル時代の先住民族 : 「先住民族の10年」とは何だったのか			法律文化社	A5	299
	下記の論文のほか「資料」として関係法律あり。					
阿部ユボ	アイヌ民族の復権運動					39～50
長谷川由希	WGIP から見えてきたアイヌ民族の成果と課題					50～58
小林純子	NGO 活動を通して先住民族の10年を振り返る					68～75

2004 補遺 9～12月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
上村英明	「先住民族の国際10年」が生み出した希望、現実、そして幻想 : 日本から次の10年における権利回復運動の可能性をみる					229～249
歴史教育者協議会(編) 篠塚明彦 平井敦子 平井敦子 平井敦子	東アジア世界と日本 オホーツクとアイヌ文化の成立 上方の米穀は蝦夷地でとれる? 松前藩とアイヌ民族 南下するロシア、北を向く幕府 近代日本と北海道			青木書店	A5	270 52～55 90～94 103～106 116～119
<b>【10月】</b>						
朝倉利光	北海学園大学学報 ろう管レコードに吹き込んだ人々 4 流浪の人類学者の録音(2) ブロニスワフ・ピウスツキ		58	北海学園大学	A3	8 4
齋藤敬子 齋藤敬子 山本敬介	イーストサイド 【北海道の本の紹介】会いたいけれど遭いたくないヒグマの手引書 クマに会ったらどうするか 姉崎等・片山龍峯著 【話のクリップ】コトバを知ろうとする意識 二風谷の和人がつくるアイヌ民具の「高野民芸」		10	バルク・カンパニー	A4	88 43 44 76～78
北海道開発局石狩川開発建設部(監修)、石狩川振興財団(編)	石狩川舟運史 丸木舟を利用したアイヌの人々 対雁の状況			石狩川振興財団	A4	113 4 17～18
<b>【11月】</b>						
童夢(編) 齋藤夕子(取材・文)、 大西成利(写真)	FRONT 塘路湖の貴重な恵み・ペカンベ アトイさん アイヌ詞曲舞踊団「モシリ」ミュージック・デザイナー	16	2	182	リバーフロント整備センター	A4 75 34 38～39
今石みぎわ 菊池勇夫	真澄学 真澄に「削りかけ」研究の今後をさぐる 菅江真澄から近世史をさぐる1 鮮漁に生きる人々 : 渡島半島西海岸の旅			1	東北芸術工科大学東北文化研究センター	A5 320 210～225 300～319
部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会(編)	全国のあいつく差別事件 2004年版 札幌市内寺院における差別落書き事件 初出は『解放新聞 広島県版』				解放出版社(発売)	A5 155 146
	スロウ トゥイタキ「オタスウンクル」			2	クナウマガジン	A4 184 94
太宰幸子	地名 津軽半島における狹村の存在(1)			20	宮城地名研究会	A5 115 16～37
	部落解放・人権図書目録 2005年版 人権			22	部落解放・人権図書目録刊行会	A5 140 96～98
<b>【12月】</b>						
青柳千子	セーヴェル 19世紀初頭の千島住民 : ゴロウニンの航海日誌より			20	ハルビン・ウラジオストックを語る会	B5 82 61～68
下村五三夫	アイヌ発声口琴習俗の研究 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。					A4 186
朝倉利光	北海学園大学学報 ろう管レコードに吹き込んだ人々 5 在野の言語学者の録音 北里蘭		59	北海学園大学	A3	8 4
小松和彦、田中雅一ほか(編)	文化人類学文献事典 関係項目あり。書名、主題、事項別の索引のほか、民族・語族・エスニックグループ名の索引あり。			弘文堂	A5	1040

2004 補遺 12月～発行月記載なし

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻号	通巻	発行者	判型	ページ
橋本努	しゃりぱり 「自由」で「不自由」な社会を読み解く る		275	北海道総合研究調査会 アイヌ共有財産問題を考える	B5	78 60～61
<b>【発行月記載なし】</b>						
	トークパザール ムックリ奏者安東ウメ子の世界 ムックリ奏者安東ウメ子さん+北海道ウ タリ協会幕別支部顧問小助川勝義さん 偶然が気付かせてくれた、自分の生まれを大切に思う心 上野さださん 帯広カムイトゥウボボ保存会 十勝アイヌに伝わる伝統芸能を未来へ		66	帯広信用金庫経営企画部	A4	15 3～5 6～7 7
北海道女性団体連絡協議会 (編) 大島直行	第55回北海道女性大会集録  遥かなる縄文 : 日本文化、そしてアイヌ文化の源流をさぐる 大会記念講演記録。			北海道女性団体連絡協議会	A4	39 9～28